

駒澤大学教育後援会

会報

2025
Vol. 193



CONTENTS

地域の中心となる開かれた大学 セミナー・地域連携の紹介

- サークル紹介 ストリートダンスサークルKST／演劇研究部
- 学部・学科紹介 仏教学部
- 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん
- 気になる就職活動

会報

2025
Vol.193



サークル紹介 ストリートダンスサークルKST ▶10～11ページ

CONTENTS

◆巻頭挨拶……………4～5

永井 政之(学校法人駒澤大学 総長)……………4
小峰 美幸／千年 英一郎(駒澤大学教育後援会 副会長)……………5

特集1 ◆気になる就職活動……………6～8

●「就活体験記」
及川 遼太(文学部 地理学科4年)……………6 永井 未夢(経済学部 経済学科4年)……………7
●キャリアセンターからのお知らせ……………8

◆駒澤会・同窓会について……………9

特集2 ◆サークル紹介……………10～13

●ストリートダンスサークルKST……………10～11
清末 晟吾(代表)／新井 美穂菜(副代表)／関根 舜(幹部)
「取材を終えて」教育後援会文化部取材班
●演劇研究部……………12～13
吉村 直己(広報)／安田 くるみ(前部長)／万里崎 隼(広報)
「取材を終えて」教育後援会文化部取材班

特集3 ◆国際センターだより……………14～15

◆地域の中心となる開かれた大学 セミナー・地域連携の紹介……………16～19

特集4 ◆学部・学科紹介 仏教学部……………20～27

●「挨拶」熊本 英人(仏教学部長・教授)……………20
●「学科紹介」松田 陽志(禅学科主任・教授)／徳野 崇行(仏教学科主任・教授)……………21
●「教員ピックアップ」程 正(禅学科・教授)／藤井 淳(仏教学科・教授)……………22～23



サークル紹介
演劇研究部 ▶12～13ページ



地方で活躍する駒大卒業生の皆さん
▶28～29ページ



【駒澤大学教育後援会とは】

教育後援会は、駒澤大学・大学院に在学する学生のご父母（保証人）を会員として構成されています。大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に資するとともに、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

【本文中の表記について】

GMS学部GM学科:

グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア学科

セミナー・地域連携の紹介 ▶ 16～19ページ

◆ 特別企画 第26回 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん

● 志方 利光（文学部 地理学科卒業）

- 「このゼミに注目！」大澤 邦由（禅学科・准教授）／村上 明也（仏教学科・准教授）…………… 24～25
- 「学生たちの声」中井 英慧／片瀬 秋恵／二ノ戸 昭幸／菅原 健友／大津 我公／本間 実莉…………… 26～27

特集 6

◆ 令和7年度 教育懇談会を終えて

- 教育懇談会を終えて／オンライン個別相談…………… 30～31
- 参加者の声…………… 32～33
- 参加者アンケート結果…………… 34～35

特集 7

◆ 夏季委員研修会に参加して

◆ 大学だより

- 試験および成績評価について（教務部）…………… 38
- 卒業アルバムのご案内（学生支援センター）…………… 38～39
- 奨学金について／Instagram「駒澤の今日」更新中（学生支援センター）…………… 39
- 駒澤大学カラダスマイルプログラム／学生食堂が「キャッシュレス決済」に対応…………… 40～41
- 卒業式のお知らせ／父母寄稿募集／募金のご案内（推しのサークルにエールを）／編集後記…………… 42

◆ 教育後援会だより

- 新年賀詞交歓会のお知らせ…………… 43
- 新年賀詞交歓会 申込方法…………… 44
- 会員アンケート用紙…………… 45
- 第102回 東京箱根間往復大学駅伝競走 応援についてお願い／第21回 応援指導部ブルーペガサス天馬祭ご案内…………… 47



学部・学科紹介 仏教学部 ▶ 20～27ページ



学校法人駒澤大学
総長

永井 政之

AI時代に求められる大学教育

教育後援会会員の皆さまが本『会報』を目にされる時点ではすでに旧聞に属する話題かもしれませんが、教育後援会の行事の一つ、全国22会場で開催された「教育懇談会」も無事に円成したことをまずもってご報告申し上げます。今年度の教育懇談会には総数で約一千人のご父母の方々が参加され、皆さまの最大の関心事である大学におけるご子女の学びの様子や就職関係などを中心に、教職員との間で熱心な意見の交換がなされたと仄聞しております。また会員相互の親睦や情報交換、さらに大学に対する忌憚のないご意見のあったことも聞き及んでいます。ご参加いただいたことに厚く御礼申し上げます。

また本誌192号でも詳細に報告されているように、教育後援会からは奨学金支援、サークル活動支援、1000円朝食支援等々、大学に対してさまざまなご支援もいただいております。ありがとうございます。

さて、コロナ禍が一応の終息をみて二年余が経ちました。大学に限らず社会全体が少しでも落ち着きを取り戻してくれたらと願っていた矢先、国外ではロシアによるウクライナ侵攻、中東諸国とイスラエル間の紛争などが勃発し、国内では諸物価の

高騰など、早急に解決が望まれる課題ばかりが目につく昨今です。酷暑の夏を振り返るなら、国連が提唱するSDGsの運動も道半ばの感を強くします。かくしてコロナ禍後の現在は、あたかもパンドラの箱の蓋が開いたようだと思っておられる方、少ないと想像します。

申すまでもなく変化の波は教育の現場にも押し寄せています。なかでも喫緊の課題が少子高齢化社会の到来であることは言うをまちません。日本の大学全体の定員数よりも、大学入学を希望する受験者数の方が少なくなるとは、つとに指摘されるところです。そんな時代を生き残る唯一の方法は、さまざまな改革改善を通して受験生やご父母から「選んでもらえる大学」になることでしょう。

かつて高度経済成長の最中、「人間疎外」という言葉が流行語のように語られたことをご記憶の方も少なくないでしょう。この言葉から私はチャップリン主演の映画『モダン・タイムス』の冒頭、工場で歯車を追いまぐられる主人公を描いた有名なシーンを思い浮かべてしまいます。そしてそれを現代に当てはめるなら、AIと人間との関係を暗示しているかもしれないと思います。は

じめはより良い方向を目指してのAI開発だったはずですが、使い方によっては振り込め詐欺からフェイク・ニュースに至るまで悪用することもできます。「両刃の剣」であるAIをどう使いこなすか。結局ここではAIを使う「人間自身」が問われていることに気づきます。

大学が「知識を修得する場」であることはもちろんですが、青春を過ごすつつ「人間」としてどう生きるかを模索する場でもあります。駒澤大学は「仏教の教義と禅の精神」を「建学の理念」とします。そこには「二仏両祖」——ブツダ、道元禪師（大本山永平寺開山）、瑩山禪師（大本山總持寺開山）——の教えである「縁起」や「智慧と慈悲」を忘れない「人間」に一步でも近づいてほしいという願いが込められています。

皆さまはご子女の未来を、駒澤大学に託してくださいました。明るい未来を構築してくれる心豊かな有為な人材の育成こそが、ともすれば「デジタル化」優先の現代においては、今後ますます重要な位置を占めることになると思います。そして皆さまのご期待に背かぬよう、駒澤大学は二層の努力を傾ける所存です。ご理解ご援助のほどよろしくお願い申し上げます。



未来を支える 学生たちのために

駒澤大学教育後援会
副会長

小峰 美幸

このたび、駒澤大学教育後援会副会長を拝命いたしました小峰美幸と申します。身に余る重責ではございますが、誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「学生の応援団」とも称される教育後援会では、学生の皆さんが充実した大学生生活を送ることができるようさまざまな支援活動を行っております。中でも、サークル応援を通じて、学生の皆さんのいきいきとした表情や熱意に触れるたび、私も多くのエネルギーをもらっています。この一年で、私自身の「駒澤愛」はますます深まり、気がつけば身の回りの持ち物に紫紺色が増えてまいりました。

社会や教育環境が大きく変化する中で、多様化する学生のニーズに柔軟に対応しながら、すべての学生が安心して学び、成長できる環境づくりに貢献していくことも、私たち教育後援会の重要な役割であると考えています。

学生の皆さんが「駒澤大学に入学して本当に良かった」と心から感じられるように、また、保護者の皆様にも「子どもを駒澤大学に入学させて良かった」と思っていたけるように、大学と教育後援会がより一層連携を深め、実りある活動を展開してまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



～身近なことから支える～

駒澤大学教育後援会
副会長

千年 英一郎

今年5月より副会長を務めさせていただいております千年英一郎と申します。2人目も同じ駒澤大学へ入学したのをきっかけに、大学への感謝の念がさらに深まり、微力ながらお役に立てればとの思いから昨年より教育後援会の活動に参加しております。

昨今の物価高騰により学生の食生活を取り巻く環境はますます厳しくなっております。いわゆる「令和の米騒動」が話題となる中、栄養に配慮した朝食を100円で提供する取り組みやウォーターサーバーの設置など、食育支援事業は学生から大変好評をいただいております。また、活躍が著しいサークル団体の試合を学生と一体となつて応援を行うなど、身近な活動の一つでもあります。

役員となり大学との共催により全国で開催している教育懇談会の運営支援に携わり、活動内容の説明はもちろん、同じく子どもを通わせている保護者の皆様との交流を通じて感謝の言葉を頂戴することが、私たちの活動の大きな励みになっております。

教育後援会の活動は皆様のご理解とご協力のもとに成り立っております。今後も大学との連携を密に図りながら皆様と共に支援活動を盛り上げ、学生にとって魅力的な駒澤大学の発展に寄与できればと願っております。

特集
1

気になる！就職活動

先輩からのアドバイス 就活体験記

どのように進めていけばいいのか…と悩むことも多い就職活動。今回も2人の経験者の実体験をお伝えします。

就

就職活動には、正解がありません。前回の面接では面接官が良い反応を示してくれたのに、今回は全然ダメだったという経験を何度もしてきました。正解がないからこそ、自身の目指したい姿を明確にし、不足している部分を把握することができなければ、頑張っても何となくの就職活動になってしまいます。

私は「自己分析」に時間をかけることを心がけました。就活での自己分析を通して新しい自分が見え、目指したい姿が明確になりました。この習慣は、就職活動が終わった現在でもときどき取り組んでいます。

迷ったときは、ぜひ紙に何でも書き出してみてください。何度も同じワードが登場したら、それが自分の「軸」だと思います。就活では周囲のさまざまな意見や噂で自身の方向を見失ってしまうこともあると思います。周りに流されることがなく、ぜひその信念を大切に、今自分がやるべきことを積み重ねてください。その積み重ねは、エントリーシートや面接だけでなく、これからの自身の軸にもなると思います。

内定先
東日本旅客鉄道株式会社



文学部 地理学科
地域文化研究専攻4年
及川 遼太 さん

就職活動スケジュール

大学2年時

- 7月 大学キャリアセンター主催のイベントに参加する。
- 2月 企業が主催するオンライン就活イベントに初めて参加する。

大学4年時

- 4月 下旬に、志望していた東日本旅客鉄道の内々定をいただく。

大学3年時

- 4月 就活サイトの登録をする。気になっていた企業の説明会を予約、参加。
- 5月 企業の説明会や1DAYプログラムに参加(鉄道・海運・航空・物流)。
- 6月 夏のインターンシップへ向けてESの作成を開始。同時期にSPIの参考書を購入し、対策を始める。エントリーの取りこぼしがないよう、スプレッドシートを活用したスケジュール管理も行った。
- 7月 夏のインターンシップや説明会に参加(30社)、キャリアセンターからの紹介のみでなく、就活サイトからも自身でアポイントを取ってOB訪問をする。
- 8月 各社のインターンシップに参加。とにかくESを書いて経験を積み、少しずつ書き方のコツをつかんでくる。
- 9月 インターンシップとOB訪問を繰り返し、徐々に「やりたいこと」の軸が明確になってくる。
- 10月 自己分析を開始。メモ帳を常に持ち歩き、アルバイト中や電車の中など、思い浮かんだ考えをメモするようになる。このメモが、後の本選考エントリー時に役に立った。
- 11月 冬のインターンシップへ向けてESの添削を開始。
- 12月 本選考に向けた面接対策を始める。行きたい会社の座談会にも積極的に参加。最前線の現場で働く方々から直接お話を伺った。
- 1月 面接練習を繰り返し行う。空いた時間はキャリアセンターに足を運んだ。
- 2月 夏のインターンシップに参加した企業の早期選考がスタート(航空業界)。本選考のエントリーも開始(海運業界)。
- 3月 鉄道業界のエントリーも開始。ESの作成、面接練習、SPI対策、面接本番等、就活の山場を迎える。最も大変な時期ではあったものの、早くから少しずつ積み重ねていた自己分析や企業研究が活き、自信を持って選考に臨むことができた。ESは合計で30社に提出。



就

職活動を通して感じたことは、日々の自分と向き合うことの大切さです。就活について考えているときだけでなく、友人といて“楽しい！”と感じたときにそのときの感情を覚えておくなど、毎日の生活の中で自己分析が進むことも多いです。最初は楽しくなかった就活も振り返ってみると、いろいろな人と出会うことができとても楽しかったと感じます。決して一人では悩まず周りの友人や大人にも相談すると、さまざまな視点から意見をもらうことができると思います。面接ではいろいろな角度から質問されるので、就活と並行して旅行に行ったり、今まで経験したことのないチャレンジをしたりすることで自己認知力も向上すると思います。皆さん頑張ってください！

大学3年時

- 4月 大学主催の就活ガイダンスに参加し、マイナビをはじめとした就活サイトに登録する。
- 5月 東京ビッグサイト開催の合同説明会に参加して、さまざまな業種・業界があることを知る。
- 6月 サマーインターンに向けて、業種・業界問わず知っている企業にES(エントリーシート)を提出。
- 7月 ESの書き方が分からず、応募した5社全てに落選する。
選考なしでエントリーできるインターンや説明会に参加する。
- 8月 玉手箱、SPIの勉強を始める。引き続きさまざまな企業の説明会に参加。友人が参加してよかったと言っていたりそな銀行のインターンに初旬に応募し、選考を通過することができ、下旬に1DAYで参加した。
- 9月 さまざまな企業を見た中で、金融業界と不動産業界に焦点を当て始める。
- 10月 オーストラリアで職業体験を1カ月行い、その期間は就活から離れた。
- 11月 帰国直後に選考なしでエントリーした企業の採用面接を受けたが、二次で落ちる。
- 12月 学校の課題がたてこみ、就活になかなか時間を当てられなかった。企業研究だけは行っていた。
- 1月 金融業界に絞る。少しずつESが通りインターンに参加できた。
- 2月 参加したインターンの採用面接が始まったものの、話し方が分からず苦戦し、友人と練習する。大学主催の合同説明会で、面接予定がある企業の説明会に参加。
- 3月 初旬にりそな銀行の採用面接と他企業からの採用内定をもらった。中旬に最終面接でりそな銀行から内定をもらう。第一志望だったため就活を終了した。

内定先
株式会社りそな銀行



経済学部
経済学科4年
永井 未夢 さん





2027年卒生の就活も本格化！

2026年卒(学部4年生・修士2年生)の就職活動も続いています、
 いよいよ2027年卒(学部3年生・修士1年生)の就職活動も本格化しています。
 そこで今回は2027年卒に対する就職支援について、ご父母(保護者)の皆様へご紹介いたします(一部抜粋)。
 なお、学生には、駒キャリ・メール・学内掲示等で詳細を告知しています。

2027年卒生(学部3年生・修士1年生)対象 就職・キャリア支援(主なプログラム)

11月以降 随時	卒業生相談会	さまざまな業界から本学のOB・OGを招いて、相談会を実施します。
	内定者によるアドバイス会	座談会形式で、4年生内定者が就職活動を控えた学生の質問に答えます。
	自己分析	自己理解・自己分析を踏まえながら、 学生時代に力を入れたことについて、ワークを通じて振り返ります。
	業界・職種研究	業界研究・職種研究を理解するために必要な考え方・調べ方を学びます。 志望動機の作成につなげていきます。
	ES(エントリーシート)対策	企業への応募の際に必要な “自己PR”“学生時代に打ち込んだこと”“志望動機”を完成させます。
	グループディスカッション対策	突然の選考にも焦らないように、グループディスカッションの意図を理解し、 ワークを通じて体験します。
	面接対策	面接官の視点等を解説し、ワークを通じて面接を体験します。
10月中旬～ 下旬	業界研究講座	さまざまな業界の実務者による業界研究講座を開催します。 トップクラスの企業が、業界の概要や現状、課題等について説明します。
2月中旬～ 下旬	学内合同説明会	優良企業を多数お招きする学内合同説明会を開催します。

第1回学内合同説明会のご案内

2026年2月中旬～下旬に第1回学内合同説明会を開催いたします！

招聘企業数は100数社を予定しております。

1日に複数社の説明を受けることができます。
 皆様もご存じの企業や、業界研究をしているとよく名前が出る優良企業が多数参加予定です。

駒大生の採用意欲が高い企業担当者と近い距離でじっくり話ができる貴重な機会です。
 ぜひご子息ご子女にお勧めください(今後の社会情勢により変更する場合があります)。

インターンシップの動向

2026年卒学生のインターンシップ等への参加状況に関する調査結果では、2025年3月時点で参加率81.0%、平均参加社数7.62社でした。また、インターンシップ等への応募時に選考を経験した割合は78.1%であり、多くの学生がその応募時に書類や面接による選考を経験しています。特に、「応募理由」「自己PR」「入社後に取り組みたいこと」「学生生活で力を入れたこと」等が多く質問されていることから、選考を通過するためには、企業・業界研究や自己分析の準備を行っておく必要があることがうかがえます。

出典：株式会社インディードリクルートパートナーズ「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加状況(3月時点)」

駒澤会・同窓会について

卒業後も大学と縁をつなぐ

皆様は、駒澤大学を支える三つの団体をご存じでしょうか？ 駒澤大学には、教育後援会、駒澤会、同窓会と、学生たちや大学を支えている三つの団体があります。

駒澤会は、駒澤大学卒業生の父母の会で、大学の発展を願ひ、皆様からの駒澤会入会金を基金として、在校生に「ゆめ基金」（駒澤会奨学金基金）の給付を行っています。今年も7月14日に四十人の各学部の実績優秀者に対して、給付させていただきました。

また、会員の皆様と親睦を深めるため、総会、賀詞交歓会、親睦会、研修会も行っており、今年度10月の研修会では、今年駒澤大学学長に就任された村松哲文先生をお招きし、東京国立博物館で主に「運慶」の作品について、ご講義いただきました。

また、年2回「駒澤会だより」を発行し、各種行事の報告もさせていただきます。

ご子息、ご息女が学ばれた駒澤大学、卒業後も駒澤大学との縁を大切にしたいと思ひます。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



同窓会について

同窓会がつなぐ 現在と未来

同窓会には、47都道府県と台湾に支部が存在し、現在59支部あります。各支部は年1回の全国支部長会への出席、総会・懇親会の開催、母校・駒澤大学への支援といった多岐にわたる目的のために活動をしています。

同窓会は未来を担う在校生にもその存在を知っていただくため、さまざまな形で支援を行っています。同窓会奨学金は高校時代に優秀な成績を修めた新入生を対象に、学業奨励型奨学金として給付しています。さらに、在学中に難関資格を取得した学生や、各スポーツ大会で顕著な成績を修めた学生・団体にに対し、同窓会表彰として表彰金を贈呈しています。これらの支援には、在学中に目的を持ち、勉学や部活動等に真剣に取り組み、将来社会に貢献できる立派な人材に育ってほしいという同窓会の切なる願いが込められています。

同窓会は、在校生・卒業生の皆様にとって、これまで以上に身近な存在となり、同窓会活動が皆様の人生においてかけがえのない「縁」となることを心から願っています。



特集
2

CIRCLE Pick Up!

サークル
紹介

ストリートダンスサークルKST

- 創立年: 2016年
- 部員数: 163人



ストリートダンスサークル KSTとは?

ストリートダンスサークルKSTは、7つのジャンル(Hiphop、Break、House、Krump、Waack、Lock、Pop)で構成されているサークルです。

そもそもストリートダンスとは、主に街中やクラブなどの自由な場所で生まれたダンススタイルの総称です。音楽に合わせて即興で踊ることが多く、自由な表現や個性が重視されるのが特徴です。競技やバトル、ショーケースなど、さまざまな場面で楽しんでいます。

活動は各ジャンル週2回、2〜3時間の練習です。半分以上が初心者からのスタートなので、先輩や仲間と教え合いアットホームな環境で力を伸ばすことができます。

1年間を通して、ダンスのイベントはもちろん、BBQや夏冬合宿など、最高に楽しめるイベントも盛りだくさんです。



VOICES OF MEMBERS [部員の声]

幹部
経済学部
経済学科3年
関根 舜

ダンサーとして 人として成長

私はサークルに入りたくさんのことを学びました。サークルでの活動を通して、ダンスだけでなく人間性についても学ぶことができました。

人との関わり方、相手に対する思いやり、物事を客観視する大切さなど、何事に対しても「考える」ということが大事だとわかりました。ダンスサークルは素晴らしいコミュニティだと思います。



副代表
経済学部
経済学科3年
新井 美穂菜

日々成長を重ねて 全国の舞台で活躍

私は大学からダンスを始めました。最初は振りを覚えたり音に合わせたりと、周りについていくのに必死でした。優しい先輩方や、同期の友達が一から丁寧に教えてくれたおかげで、イベントを重ねるたびに上達を実感できました。

3月に行われる全国大会にも出場し、周囲に支えてもらいながら練習に励み、全国5位という結果も残すことができました。結果発表で私たちのチームが呼ばれたときの感動は忘れられません。初めてのことでただでよかったこともたくさんありましたが、チームで支え合って勝ち取ったこの経験は私を大きく成長させてくれました。

これからも仲間と協力し合って、さらに高みを目指して頑張りたいです。

代表
経営学部
経営学科3年
清末 晟吾

挑戦を掲げて 記憶に残る世代に

新しいことにチャレンジする一年にしたいと考えて始動しました。ジャンルを新たに増やし、各イベントもコンテンツを見直してさらなる盛り上げのために尽力しようと決めていました。幹部はもちろん、KST全体の協力のおかげで、気がつく例年の倍の1年生が入ってくれました。

記憶に残る代を目指して、自分の持つポテンシャルを最大限に発揮していきたいと思っています。



取材を終えて

木曜日の夕方、記念講堂の練習会場にお招きをいただきました。インタビューでの皆さん一人ひとりの対応のさわやかさがとても印象的でした。サークルの特徴を「アットホーム」という言葉で集約されていましたが、実際に練習風景を拝見してみると、大学からダンスを始めたメンバーもいる中で全員が見事にシンクロしているさまは圧巻であり、そこに至る練習量もさることながら、これはまさにアットホームな環境がなせる業に違いないと共感した次第です。そこにあるのは、教え合い励まし合いながら皆で成長していければよいというやさしさですね。

見学を通じて、メンバーのダンスへの熱い思いが直球で伝わってきて、深い感銘を受けました。見ていて気持ちの良いダンス、その楽しさと醍醐味を味わいながら、これって皆でつくり上げていく創作活動の究極なのでは、と感心しました。短い時間でしたが、若い人が熱中する理由がよく分かった気がします。これからもぜひ応援していきたいと思っています。



年間活動予定

- 4月 ○ サークルフェスティバル
- 5月 ○ 新歓、新年度総会
- 6月 ○ 東都フェス
- 7月 ○ BBQ
- 8月 ○ ふれあい夏祭り、サマーパーティ
- 9月 ○ 夏合宿、東都リーグ
- 10月 ○ ハロウィンパーティ
- 11月 ○ オータムフェスティバル、4大学合同イベント
- 12月 ○ 忘年会
- 1月 ○ KST Night
- 2月 ○ Japan Dancers' Championship
- 3月 ○ Ajinomoto All Japan

CIRCLE

サークル
紹介

Pick Up!

演劇研究部

- 創立年: 1960年
- 部員数: 60人



演劇研究部とは?

演劇研究部は、春・夏・冬に行う大型公演に加え、サークルフェスティバルやオータムフェスティバルでの小型公演も行っています。公演の多くは、学内にある緑の丘スタジオMOON/SEEDや記念講堂で上演され、学生による自由な表現の場となっています。

脚本はメンバーによる自作が中心ですが、既存の作品を取り上げることもあります。舞台装置や小道具の製作は自分たちの手で行い、創意工夫を凝らしながら舞台をつくり上げます。音響・照明の操作には、電気美術研究部の皆様の協力をいただいています。役者だけでなく、脚本・演出・舞台美術など、さまざまな立場から演劇に関わることができ、仲間と一つの作品をつくり上げる喜びを味わえる部活です。初心者も大歓迎で、経験の有無にかかわらず、自分の表現を探索し、演劇の面白さを一緒に体感できます。

年間活動予定

- 4月 ○ サークルフェスティバル
- 7月 ○ 新入生歓迎会・春公演
- 8月 ○ 夏合宿
- 9月 ○ 夏公演
- 11月 ○ オータムフェスティバル
- 12月 ○ 冬公演

VOICES OF MEMBERS [部員の声]

広報
経営学部
経営学科2年
万里崎 隼

さまざまな人と さまざまな考え

この部活の魅力は、一つの公演をつくり上げていく過程でさまざまな人のさまざまな考えに触れる機会が多いことだと私は感じています。特にキャラクター・台本の解釈では多くの考えに触れる機会があります。どのような考えがあってそのような動きをしたのか、この時に自分が演じているキャラは何を思っているのか。一つのキャラクター、一つの場面だけでも人それぞれの解釈があり、感じたことも考えたこともバラバラです。そして、それらを知ることによって作品への解像度が上がるのはもちろん、考えた人のことも知れるような気がするのです。そこが私は面白いと思っています。

そんなさまざまな人のさまざまな考えが詰まった私たちの劇に少しでも興味があったら、ぜひ観に来てください。



前部長
文学部
心理学科3年
安田 くるみ

それぞれの役割

舞台は、表に立つ役者だけでなく、演出・衣装・大道具・小道具など、多くの力によって成り立っています。役者は舞台の“顔”。裏方はその舞台を支える“力”。演出は、作品を導く“軸”です。どの役割も欠かすことなく、それぞれが真剣に舞台に向き合っているからこそ、作品は完成します。本番を終えた瞬間に得られる達成感は、どの立場であっても変わりません。

私たちの全力の青春を、どうか見届けてください。



広報
文学部
歴史学科3年
吉村 直己

始まりの場所

この部活は、演劇の世界に足を踏み入れる“始まりの場所”です。「将来は俳優になりたい!」という強い想いを持つ人はもちろん、「演劇ってどんな感じなんだろう?」と少しでも興味を持った人が、自分に合っているかを確認めるのにもぴったりの場所です。

一年を通して仲間と力を合わせ、一つの舞台をつくり上げていく。その達成感は格別です。「もっと演じたい!」「もっと舞台に立ちたい!」と思ったら、外部の公演や大会への挑戦も可能。そんなチャンスがこの部活にはあります。

少しでも演劇に興味があるなら、まずは一步、踏み入れてほしい場所。それが“駒大演劇部”なんじゃないかな、と思います。



取材を終えて

令和7年7月7日、なんだかエングが良さげなゾロ目の日、ついに駒澤大学演劇研究部さんへの取材が実現しました。入学と同時に演劇の道にどっぷり浸かってきた副部長の菊池優太さんの丁寧な対応が印象的です。総勢60人の大所帯が教場を稽古場に各々の個性をぶつけ合い表現を磨き合うなんて、できるの? と思っている皆さん。どうやら、やっているんです!

クールな若者がそれぞれに熱い思いを行動(action)に移して、計画的に舞台を実現させているようです。電気美術研究部とのコラボレーションだけでなく、さまざまな人とさまざまなカタチで彩り豊かな空間を創出していきたい、そんな思いを強く感じました。65年の歴史を持つ駒澤演劇の現在地を垣間見て、文化発信地としての新たな可能性をひしひしと感じました。

応援したくなる。次の舞台も楽しみにしています!

国際センター
だより

国際センターの支援体制

The team at the International Center of Komazawa University works tirelessly to foster the university's global partnerships and to develop opportunities to deepen cultural exchange and global mobility through study and research activities abroad. It is a great privilege to have joined the team as the Director of the International Center since April 2025.

The International Center was established in May, 1988 and currently has 40 partnerships worldwide. An important aspect of the International Center's activity is encouraging students to consider their role as global citizens and to develop their skills as part of the future workforce. The demand for international education is rising, and it is essential to understand shifting mobility patterns and emerging digital platforms.



In the first semester Komazawa University accepted a total of 8 exchange students from Taiwan, Korea, the U.S.A. and Germany. The university also sent 3 exchange students to Korea and Australia. In the second semester, a total of 11 exchange students came to study at Komazawa University from Taiwan, Korea, Thailand, the U.S.A., the U.K., France and Australia. In addition, the university sent a total of 17 exchange students to China, Taiwan, the U.S.A., the U.K., France, Germany, Poland and Finland.

The International Center regularly holds study abroad consultations and fairs, providing information and support to students. Furthermore, since April of this year, the Global Lounge named "Komazawa International Students' Hub" or "KISH" has been established, with Global Salons being held each month, providing opportunities for interaction between international students and Komazawa University students.

国際センター所長
モート,セーラ

語学セミナー

2025年度は夏季短期語学セミナーとして、ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)に20人、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)に27人、淡江大学(台湾)に9人、オックスフォード大学ハートフォードカレッジ(イギリス)に19人、マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク(ドイツ)に6人、計81人の学生を派遣しました。

参加者はホームステイまたは大学寮での宿泊をしながら、語学プログラムへの参加、国際交流、異文化体験を通して、充実した夏休みを過ごしました。

また、春季語学セミナーとして、アルカラ大学(スペイン)、グリフィス大学(オーストラリア)への学生の派遣を予定しています。

なお、語学セミナーを修了すると、卒業に必要な単位(外国語選択科目)として認定されます。



交換・認定校への留学

本学協定校への交換留学および認定校留学の派遣学生の間には、本学の授業料を80%減免し、少しでも留学しやすい環境になるよう便宜を図っています。さらに交換留学生には学習資金の支給も行っています。

本学では現在、交換留学生の派遣先として世界各地に23の協定校を有しており、本年度は、4月には3人の交換留学生を、9月には17人の交換留学生を本学協定校に派遣しております。また、4月には1人を、9月には4人を認定校留学生として派遣しました。

なお、2026年度9月派遣交換留学募集要項は国際センターHPに掲載しています。出願締切は2025年12月上旬を予定していますので、派遣条件等を確認し応募の準備をしてください。



国際センター
公式Instagram

留学相談室

国際センターに併設する留学相談室では、多種多様な留学パターンの紹介のほか、必要な語学力や勉強方法、留学手続きのやり方など、さまざまな疑問や相談に、留学を経験したスタッフが応じています。また「学生留学アドバイザー」として、留学経験のある本学学生が実体験などを踏まえ、相談者の知りたい情報をお届けし、対応しています。



課外講座

英語圏の大学・大学院に留学するために必要な語学試験の所定スコアの獲得のため、IELTS™対策講座、TOEFL iBT®対策講座を、英語を使った対話・コミュニケーション能力の修得のために「毎日学べる英会話」を課外講座として提供しております。また、TOEFL ITP®試験、TOEIC®IP試験も実施され、英語力アップの確認ができるようになっています。

なお、IELTS™対策講座、TOEFL iBT®対策講座については、教育後援会の援助事業として、受講料の一部を補助しています。

留学フェア

留学と国際交流に関する個別相談およびテーマ別講演に特化した「留学フェア」を、毎年9月に開催しております。本年度については、9月25日、26日、29日の3日間、種月館2階のウイステリアにてお昼休みを中心とした時間帯に開催し、ワーキングホリデーや海外インターンシップ、国際ボランティアの関連団体による個別ブースでの相談会、留学経験のある在学生によるパネルディスカッション、留学とお金の話、留学と就職についての講演などを実施しました。



学内での国際交流

グローバルサロン

毎月、受入留学生に日本語、英語、母国語で自国の文化を話してもらい、それをきっかけに本学学生と交流を深めていく「グローバルサロン」を開催しています。昼休みに集まった学生たちは、お互いの国のエンタメや観光地などを紹介しあって、毎回盛り上がっています。



来日プログラム「KOMSTUDY」

毎年、本学の協定校から留学生が来日し、約3週間、駒澤大学の在學生との交流を通して日本語や日本文化を学ぶ、来日プログラム「KOMSTUDY」を実施しております。6月22日から7月13日まで行われた「KOMSTUDY 2025」には、三つの国・地域の計4大学から19人の留学生が参加し、期間中には、延べ130人以上の学生ボランティアが留学生のサポートを行いました。

グローバルラウンジ「KISH」

駒澤大学の国際交流の拠点として、本年4月よりグローバルラウンジ「KISH」を設置しております。国際交流に興味のあるすべての学生に開かれたスペースとして利用することができ、グローバルサロン等各種イベントも開催しています。

場所：駒沢キャンパス3号館3階3-307 教場横

社会連携センターについて 教えてください

社会連携センターは、大学と地域をつなぐ“ハブ”のような役割を担っています。駒澤大学では社会連携として世田谷区との連携、企業・団体との共同研究、駒大生のプロジェクト、生涯学習の場として公開講座・日曜講座、夏休みこどもアカデミー、健康づくり教室など、学外の皆さんと多くの接点を持っています。

社会連携センターでは、公開講座の主催、学部や同窓会が主催する講座の支援、ゼミやサークルなど学生の活動と関連する地域・民間団体とをつなげる支援を行っています。

セミナー・ 地域連携の 紹介

駒澤大学では、地域との連携や社会貢献の一環として公開講座やセミナーの開催、地域協働での活動を行っています。2021年にこれらの活動の中核となる「社会連携センター」が組織されました。お話を伺ってきましたので、以下にご紹介します。

駒澤大学 2025年度 前期

4月対面 公開講座

道元の思想と表現

講師：頼住 光子
(駒澤大学仏教学部 仏教学科 教授)

日 時：4月5日(土)
10:00~11:30 会場：A・30

受講料：1,000円

会 場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール
定 員：200名(先着順・要申込 3月29日締切)
お申込みは下記QRコード、または駒澤大学ホームページよりお手続きください。

お問い合わせ：駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 2025年度 前期

5月対面 公開講座

**現代家族を読み解く
— 変容する家族のかたちを考える —**

講師：松信 ひろみ
(駒澤大学文学部 社会学科 教授)

日 時：5月10日(土)
10:00~11:30 会場：A・30

受講料：1,000円

会 場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール
定 員：200名(先着順・要申込 5月3日締切)
お申込みは下記QRコード、または駒澤大学ホームページよりお手続きください。

お問い合わせ：駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

公開講座に ついて 教えてください

公開講座は対面、オンデマンド配信をご用意しています。対面は年8回、オンデマンド配信は年8講座が開催されていますが、年間延べ約1,000人の方が受講されています。

駒澤大学 2025年度 前期

6月対面 公開講座

**日本の出版文化のおもしろさ
— 絵本を中心に —**

講師：内藤 寿子
(駒澤大学総合教育研究部 教授)

日 時：6月7日(土)
10:00~11:30 会場：A・30

受講料：1,000円

会 場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール
定 員：200名(先着順・要申込 5月31日締切)
お申込みは下記QRコード、または駒澤大学ホームページよりお手続きください。

お問い合わせ：駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 2025年度 前期

7月対面 公開講座

**江戸の捨て子と
江戸で彷徨う旅人**

講師：中野 達哉
(駒澤大学文学部 歴史学科 教授)

日 時：7月12日(土)
10:00~11:30 会場：A・30

受講料：1,000円

会 場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール
定 員：200名(先着順・要申込 7月5日締切)
お申込みは下記QRコード、または駒澤大学ホームページよりお手続きください。

お問い合わせ：駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626
(月～金・9時～17時) (土・日・祝祭日・12月29日～1月3日休校)

講座や連携活動は、 誰が、どのように 企画し、 開催していますか？

公開講座以外では、学内・大学関係者などさまざまな方たちが、独自に企画・開催しているものもあります。企画主催は同窓会、総務部、学部等多彩で、その対象とするものや範囲は多岐にわたります。

講座としては、例えば、大八木監督の講演は総務部のフェロー講座、学部等や学生同士では研究内容の公開、社会連携としては、地域、企業または団体との共同研究、ボランティア活動、体育会による玉川キャンパス周辺の地域活動参加などが代表的なものです。

そのほか、駒沢地域の課題である防災について、世田谷区と共同で防災訓練を企画・実施したゼミもあります。

社会連携センターは、これらの開催にあたり必要な支援を行っています。地域の皆さんへの周知の方法としては、ホームページでの告知より自治会の回覧板でのお知らせの方が効果的なこともあります。



しなやかな、未来。
駒澤大学

夏休みこどもアカデミー 2025

放射線と防護材の相性を学ぶ！
科学×カードゲーム講座
— 放射線お化けから身を守ろう！—

講師
村田 沙
駒澤大学 医療健康科学部
放射線防護学科学科 講師

受講料
無料

対象
小学3～6年生

定員
30名
(先着順)

2025年7月30日(水)午前10時～
会場 駒澤大学深沢キャンパス
お申込み締切：7月23日(先着順 定員になり次第締切ります)

講座概要・お申込方法はこちら → 

お問い合わせ 駒澤大学深沢校舎事務室 電話 03-3702-9625

人気のある講座やイベント、駒澤らしい特徴ある講座やイベントは？

本学の特徴でもある「仏教」が関係する講座には多くの受講申し込みがあります。

仏教美術や仏教文化などさまざまなテーマの講座が実施されています。昭和37年に発足した「日曜講座」は、大学の夏季・冬季休暇期間を除いた日曜日に駒沢キャンパス禅研究館坐禅堂で開催されていますが、禅研究所を中心とした指導のもと、坐禅と講義による公開講座として特徴的なものです。

また、「夏休みこどもアカデミー」は、夏休み期間中に行っていますが、子どもたちの自由研究にも役立っているようです。今年は医療健康科学部の教員が講師となり、「放射線と防護材の相性を学ぶ！ 科学×カードゲーム講座 — 放射線お化けから身を守ろう！—」というタイトルで行われました。対象が小学生なので、世田谷区報や小学校での連絡でお知らせしています。



開催される講座や イベントで 興味あるものを 探すには？

家族の会話をきっかけにすることも重要かと思います。ご子女と同じ“推し”を見つけるというのも面白いでしょう。

学生の皆さんは、自分の興味・関心などにより大学および学部選びをして、進学しています。入学した学部の学問領域について熱心に学び、研究を深めるのであれば、その対象は例えて言うなら、まさに“推し”。一方で、本人にとっても、関心を向けられるのはうれしいことかもしれません。ですから、大学のホームページでご子女の所属する学部、ゼミ、サークルに関連しているものを探すのもよいかと思います。

さらに、勉強・研究・活動の領域について語り合うことで、良い家族関係が築かれ、ご子女の成長の手助けになることもあるでしょう。自身の研究や活動について嬉々として語る姿に、ご家族としても、その成長を感じられるうれしい時間を過ごすことができるかもしれません。

駒澤大学ホームページの「社会連携・生涯学習」(<https://www.komazawa-u.ac.jp/social/>)に、活動や開催される講座が掲載されています。ぜひご覧いただき、ご興味のある講座などへご参加いただければと思います。

おわりに

当初は単に公開講座などの紹介という趣旨の記事を考えていたが、お話を伺ううちに生涯学習および社会連携として大学が行っている活動が多岐にわたっていることや、それぞれについてたいへん真摯に取り組まれていることを改めて知り、記事の内容を変えた次第です。特集記事としてはまとまりを欠いてしまったかもしれません。ご容赦いただければ幸いです。

「駒大生社会連携プロジェクト」

医療健康科学部・村田渉PJ

RED-RINGプロジェクト：
持続可能な放射線教育の深化と波及

8/5 環境省・世田谷区との連携企画



令和6年度「駒大生社会連携プロジェクト」活動報告会

本稿ではご紹介していませんが、「せたがやeカレッジ」として世田谷区内6大学と世田谷区教育委員会が共同で運営する生涯学習にも参加しています。上記ホームページをご参照ください。

最後になりますが、お忙しいなか、お時間をいただいた学術研究推進部 社会連携課 社会連携センターの杉浦様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。



英人です。
ご承知のように、駒澤大学は、1592（文禄元年、江戸駿河台吉祥寺境内に設けられた「学林（吉祥寺会下学寮、のちに施檀林）」に端を発しますが、1882（明治15）年の「曹洞宗大学林専門本校」の開



仏教学部長
教授
熊本 英人

仏教学部で学ぶということ

校を近代的教育機関としての創立とし、本年度より仏教学部長を務めます熊本英人です。

ご承知のように、駒澤大学は、1592（文禄元年、江戸駿河台吉祥寺境内に設けられた「学林（吉祥寺会下学寮、のちに施檀林）」に端を発しますが、1882（明治15）年の「曹洞宗大学林専門本校」の開

昨今は、寺院出身ではない、僧籍を持たない学生も仏教学部の約半数を占めています。仏教を専門的に学ぼう、僧侶として仏教の学問的素養を身につけよう、という向学、心の高い学生さんもう一方で、お寺を継ぐために入学した、さらには、仏教に全く関心はないがこししか入学できなかった、という学生さんが少なからずいるのもまた事実です。しかしながら、考えてみれば、どの学部学科でも積極的な理由を持って選択した人はそれほど多くはないはずで、大切なのはスタートしてからだということです。

道元禅師は、たわむれに袈裟を身につ



ただただとしても、それが仏の教えを会得する縁となった、という例を挙げて説明しておられます。学生本人が仏教や宗教について学ばなければ、つかんで、主体的にそれを学ぶことができないよう手助けするのが、仏教の幅広い分野の専門家からなる私たち教員の役目と心得ています。

仏教学部では、1・2年次は学科分けせず広く仏教全般の基礎を学び、3年生から禅学科・仏教学科に分かれて、さらに自分の専門をしぼって研究を進めていきます。4年間で得た学びの筋道は、僧侶としてはもちろんのこと、どの方向に進んでも必ず自身を導いてくれるはずです。

禅学科について



仏教学部
禅学科主任
教授
松田 陽志

禅学科は曹洞宗の僧侶が学ぶ学林（旃檀林）を母体にして設立された本学の伝統をそのままに伝える学科です。中国で教団として成立し朝鮮半島、日本へと展開した禅の歴史・思想を専門的に学ぶことのできる全国唯一の学科です。

仏教学部は学生の志望によって3年次から学科所属が決定します。禅学科には、僧侶として寺院の後継者となることを志して入学し、卒業後は本山等での安居修行に進む学生もいますが、近年は半数以上の学生が一般企業等に就職しています。

禅学科には現在十一人の専任教員があり、3年次以降は、指導の教員の下での演習の授業を中心に、それ

ぞれの専門分野に基づく歴史的文献についての研究がおこなわれます。

中国・日本の禅宗の文献は、師と弟子との問答をそのままに記録する「語録」として編集伝承され、その言葉の深意を丹念に読みとることによって、自分自身に厳しく向き合った禅僧の主体的かつ日常的な仏教の実践の姿を学びます。同時に、本学坐禅堂での「坐禅」（必修科目）の実習を通じて、その実践的意義を身をもって学びます。なお「坐禅」は他学部 of 学生にも選択科目として開講されており、禅学科の教員が指導にあたります。

流動的で多様な社会の中でこそ、しずかに真剣に禅に向き合うことで、自分にとって大切なことは何かを考えてもらいたいと思います。



仏教学科について



仏教学部
仏教学科主任
教授
徳野 崇行

仏教学科では、お釈迦さまの教えを学び、アジアを中心としつつ世界へとひろまった仏教の歴史・思想・文化について総合的に研究しています。

仏教学科には仏教学、宗教学を専門とする十三人の専任教員があり、さまざまな地域や分野についてきめ細やかな研究指導ができることを特徴としています。地域的には、インド、チベット、中国、スリランカから東南アジア、そして日本にいたります。

仏教学科での学びの中で、仏教の教えや思想について理解を深め、自身の感性を磨き、知性や教養、そして豊かな人間性を獲得することで、社会で活躍できる人間形成を目標としています。

ここ数年の大きな変化として、新たに専任教員としてインド仏教論理学の三代舞先生、インド哲学の堀田和義先生、上座部仏教の青野道彦先生をお迎えすることができ、インド仏教の指導体制が整ったことが挙げられます。

日本人には無宗教を自認する人が多いものの、海外をみれば世俗化している現代においてもなお、キリスト教やイスラームといった宗教的信仰をもっている人々の割合の方が多い状況です。多様性を尊重する現代社会においては、仏教はじめてする宗教文化の奥深さを学ぶことで、宗教的価値観とそれを尊重する姿勢を獲得することができた仏教学科の卒業生たちが、より世界で活躍していくことを願ってやみません。





敦煌の禅籍文献



仏教学部
禅学科
教授
程 正

私は中国上海市の一般家庭に生まれました。自宅より徒歩圏内に上海の名刹である玉仏寺と静安寺が位置していることもあって、幼少期から、一般の中国人より仏教、禅には比較的多くの接点を有していたかもしれません。

1993年4月に、私は日本留学の勝縁に恵まれました。日本語学校に通いながら、中国禅に関する専門書を渉猟していく中、次第に縦横無尽に表現された禅の奥義に魅了され、本格的に中国禅について勉強したいと考えようになりました。

1995年に駒澤大学仏教学部禅学科に晴れて進学できたものの、私の目の前に、まず言葉の壁が高く立ち塞がっていました。当時、日常生活程度の日本語しか習得していなかった私にとって、独特な読み方を有する仏教・禅の専門用語が発せられた授業はとてつもなく難しかったです。幸運にも田中良昭先生、石井修道先生、永井政之先生、佐藤秀孝先生らによる懇切丁寧な指導に接することができ、薫陶を受けながら中国禅の全般にわたって多くのことを学びました。特に日本独特な漢文訓読法（読み下し）を用いて禅籍を読み解いていく中で、中国人である私がこれまで漢文で書かれた禅籍を中途半端に読んできたことに気づかされ、忸怩たる思いを禁じ得ません。

2006年に仏教学部では初めての外国人専任教員として採用されてから、すでに20年が経ちました。気づけば、若い頃憧れた中国禅宗史の授業も担当するようになりました。世界に冠たる禅研究センター的存在として

国内外に広く知られる仏教学部禅学科の重要科目を担うという重責を常に感じています。一方で、文献資料だけでなく、空間感覚としてその変貌ぶりも伝わるようフィールドワークで入手した現地の写真などを多用し、民衆に寄り添いながら王法と仏法の狭間に歩を進めてきた中国禅の歴史を学生に理解してもらうことを心がけております。毎年、百五十人を超える履修者が、中国人スタッフによる中国禅宗史の授業に熱心に耳を傾ける姿を見ると、実に感慨深いものがあります。

私の専門は、中国禅宗史、とりわけ敦煌禅宗文献を主な資料源の一つとする唐代に重点を置きます。敦煌禅宗文献とは、20世紀初頭、敦煌莫高窟（甘肅省）という石窟寺院群にある一つの隠し部屋（藏経洞とも）から発見された6万点強の古文書（敦煌文書）に含まれる400点前後の禅籍のことです。数こそ多くないものの、そのすべてが草創期の禅宗において成立したもので、しかもそのほとんどが古逸したものです。伝世の禅籍を中国仏教の主導権を手にした禅宗の光り輝くすがたと捉えるならば、敦煌禅宗文献は、新興の禅宗が中国仏教版図に食い込み、市民権を得ようと懸命に努力し、生気に満ちたその名のすがたをリアルに記録したものと言えましょう。貴重な資料価値を有する敦煌禅宗文献を用いながら、伝世文献、さらに近年その整理が急速に進みつつある唐代の金石文（碑銘、塔銘の類）資料と内容精査によって、初期禅宗の一端を明らかにしようと日々努力しております。

教員ピックアップ

専門分野 日本仏教

私は母の実家である山形県河北町谷地で生まれました。興味深いことには、同じ町の近くの曹洞宗寺院出身で美術史家として駒澤大学教授を務めた逸見梅栄という人物がいたことを、かなり後になって知りました。父の実家は福井県小浜市で、私の曾祖父は宗派が異なりながらも原田祖岳老師と仲がよかつ



仏教学部
仏教学科
教授

藤井 淳

たそうです。これも何かのご縁なのかもしれません。

2011年に駒澤大学に着任しましたが、引越しのさなかに大きな地震に見舞われました。東日本大震災という歴史的な出来事の中での新天地でのスタートとなり、今思い返しても印象深い記憶です。

私の空海研究の出発点は、学部生時代に遡ります。東京大学文学部の末木文美士先生の指導の下、課題として『弁顕密一教論』でレポートを書いたことがきっかけでした。そのときは出典探ただけで大変で、空海が何かを強く言おうとしているのは感じ取れましたが、解説書を読むだけでは、納得ができませんでした。

しかし、その後、空海と同時代の僧侶の著作と比較することで、空海が何を言おうとしたか、つまり空海の独自性を明らかにすることができました。同時代の中で生きた息吹を可能な限り、徹底的に明らかにする。これが私の研究スタイルの基盤となりました。

私の研究において特に印象深い出来事は、近代においては不明とされていた、空海が日本に持ち帰った文献を、インターネットの検索で再発見したことです。この経験は、伝統的な仏教研究にも現代の技術が大きな可能性をもたらすことを実感させてくれました。さらに、一般的には儒教・仏教・道教を比較していると考えられていた『三教指帰』は、実は空海の若き日の憤りと問題意識が込められた諫言の書であることを明らかにしました。

現在の私は、空海の背景をより深い意味

で明らかにするために大乘の思想を研究しています。最近の研究成果として法界についての英語の論文集があります。コロナ禍の直前にドイツで研究生生活をするのができ、その経験が英文論文集に所収の研究に大きな影響を与えています。この英語の論文集を、私は自動翻訳やAI技術の助けを借りながら出版しました。これは私にとって大きな挑戦でした。従来の研究方法に最新のテクノロジーを組み合わせることで、日本の仏教研究を国際的に発信していく可能性を実感しています。

私の空海研究は、徹底的な文献研究ですが、単に文献を読み解くだけではありません。空海がどういう時代の中で何を目指していたのか、その核心に迫ることが私の研究の目標です。空海は1200年以上前に生きた人ですが、空海の若い時代の閉塞的な環境は現代にも通じるものがあります。私はこれからも、現代の技術を使いながら、研究を通じて仏教の可能性を探求していきたいと思っています。学生の皆さんにも、伝統を大切にしながらも新しいことに挑戦する姿勢を持ってもらいたいと願っています。



このゼミに注目!

大澤 邦由ゼミ

- 専門分野: 近世中国の仏教、中国禅
- 演習テーマ: 近世中国の仏教文献の講読



仏教学部
禅学科
准教授

大澤 邦由

私の演習では、中国語文献の輪読を主として行っています。これを通して、文献の読み解き方と調べ方を身につけることを目標としています。自分で問題を見つけ、調べ、解決するための段取りをつけてそれを実行していくことは直接的には卒業論文の執筆のためですが、これら一連の取り組みは卒業後、就職や安居、大学院進学など、どのような道に進むにしても必ず役に立つものと思います。

輪読文献としては、明末の処世訓であり、三教(儒仏道)の教えが混ざり合った洪自誠『菜根譚』や、特に宋代以降の仏教において幅広く読まれた『楞嚴經』^{りやうごんきやう}を読んでいます。

文献の読解の際には一語一語についての正確な解釈ができるよう心がけています。文献の解釈には、一つの絶対的に正しい解釈があるのではなく、さまざまな読み方が可能です。そのため、各種の文献にはさまざまな注釈書による多様な解釈が存在します。文法的に正確な読解が前提となりますので、語学的な知識や能力の向上が第一ですが、そのうえで、輪読文献に出てくる言葉について、別のテキストの用例を調べることによって、語義の理解を深め、文全体の解釈を施していく、というような作業を行っています。



また、毎回の授業冒頭では、自分のお勧め本を紹介する「3分プレゼン」という取り組みを行っています。近年、娯楽の多様化・マルチメディア化が進行する中で、絶対的な読書経験が減少し、それに伴い文章の読解力や思考力が低下してきているのではないかとこの危惧を感じているため、学生の読書量の増加及び情報発信力の向上などを目指して行っているものです。場を踏むごとに学生の個々のスピリチが上手になっていく様を見ることはとてもうれしいことで、話下手の私にとってもとても助けになっています。

さらにサブゼミも開催しており、読書会やディベートなど、個々の興味関心に合わせて学習意欲をさらに高めるための取り組みを行っています。博物館見学や合宿などの課外学習も実施しています。

● 年間のスケジュール

【4月】

オリエンテーション、文献講読(年間を通じて)、春休み課題の提出(4年生)

【5～6月】

卒業論文執筆のための個人面談(3年生、4年生)

【7月】

卒業論文研究計画書の発表(4年生)、卒業論文研究テーマの発表(3年生)

【9月】

夏季レポート 先行研究レビューの提出(3年生)、卒業論文途中経過の提出(4年生)

【10～11月】

卒業論文の完成(4年生)、ディベート演習(3年生、4年生)

【12月】

卒業論文提出(4年生)

【2月】

個人面談、卒業論文研究計画書の提出(3年生)、課外ゼミ

学生からの一言コメント

私が所属している大澤ゼミでは、中国の古典文献の読解を中心に講義が行われています。とくに『菜根譚』を中心とし、各種データベースを活用しながら調査を進めることで、情報収集力やプレゼンテーション能力といった、社会で求められる力を実践的に身につけることができます。実際に、ゼミの卒業生からは、就職活動の際にこれらのスキルが大いに役立ったという声も多く聞かれます。

また、サブゼミでは、中国語の学習、論文読解、国語力の向上など、学生の関心や目標に合わせた多様な内容が取り上げられています。私自身も上海への交換留学に行く前に、中国語の基礎を丁寧に教えていただき、とても助かりました。



禅学科4年

小西 悠翔

このゼミに注目!

村上 明也ゼミ

- 専門分野: 東アジアの仏教思想
- 演習テーマ: 『大般涅槃経』をめぐる諸問題



仏教学部
仏教学科
准教授

村上 明也

仏教と聞くと、「なんだか難しそう」「お坊さんだけの世界でしょ?」と思う人もいるかもしれませんが、仏教は私たちの日常とも深くつながっています。悩んだり、迷ったり、不安になったりといった「生きづらさ」に向き合い続けてきたのが、仏教という長い知の伝統です。私のゼミでは、東アジアの仏教思想を幅広く学ぶことができます。天台宗・三論宗・法相宗・律宗・浄土宗といった伝統的な教えに加え、自死、環境問題、セクシャリティ／ジェンダーなど、現代社会が抱える課題も扱っています。過去の思想と現在の問いを行き来しながら、多様な視点に触れ、自分なりの関心や問題意識を深めていくことを、ゼミ生には期待しています。

卒業論文の作成にあたっては、まず教員が研究手法のレクチャーを行います。その後、ゼミ生は各自の関心に応じてテーマを設定し、レジュメを作成して発表や討論を重ねていきます。テーマの選び方や資料の探し方、文献の読み解き、先行研究の整理と活用などを通じて、論文執筆に必要な力を段階的に養っていきます。

大学での学びとは、自ら問いを立て、調べ、考え、発信することです。何を学ぶかは他人ではなく、自分で決めなければなりません。つまり、受け身の姿勢から主体的な学びへと移行することが求められているのです。

知らなかったことを知り、気づかなかったことに気づく——その知的な驚きこそが、新しい世界を切り拓く契機となります。仏教を通して、自分だけの「問い」と向き合う、充実した学びの場となっています。



● 年間のスケジュール

【4～5月】〈仏教研究の方法に関する概説〉

3年生：卒業論文のテーマを考える

4年生：卒業論文の執筆

【6～8月】

3年生：研究発表①

4年生：研究発表①、「卒業論文論題届」提出、卒業論文の執筆

【9～12月】

3年生：研究発表②、「卒業論文指導申込書」提出

4年生：研究発表②、「卒業論文作成計画書」提出、卒業論文の提出

【1月】

4年生：卒業論文口頭試問

【2～3月】

3年生：課題作成(10,000字レポート)

学生からの一言コメント

当ゼミに所属して2年目になります。1年目は仏教研究に必要な基礎的な情報やデータベースの使い方を学び、個人面談を通じて卒業論文のテーマを決めました。村上先生は幅広い関心を持たれ、漠然としたテーマにも丁寧に向き合ってくださいました。研究の方向性が見えてきた後は、ゼミ発表を通じて先生や仲間と議論を重ね、内容を深めていきました。2年目の今は卒業論文に向けて本格的に研究に取り組んでいます。大変なこともありますが、ゼミでの学びが大きな支えになっています。

先生の明るく温かなご指導は、研究面だけでなく心のよりどころでもあります。残りの学生生活も大切にしながら、論文完成を目指して努力していきたいです。



仏教学科4年

和田 隼汰

の声!

Voices of
Students!

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つっており、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つっており、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

私

は曹洞宗のお寺で生まれ育ったため、幼い頃から将来は師匠の後を継ぎ住職を務めたいと考えていました。そのため仏教、特に禅宗について本格的に学びたいと思い、宗門の大学である駒澤大学への進学を決めました。



禅学科
4年
中井 英慧

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つっており、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つおり、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

キ

ヤリアの節目で15年ほど勤めた職を辞し、現役受験生の頃の志望校の一つであった駒澤大学仏



禅学科
3年
片瀬 秋恵

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つおり、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

また、私は駒澤大学が運営する「竹友寮」という寮で1年次から生活しています。竹友寮は一種の修行道場のような機能を持つおり、坐禅や朝課を行い、法要の進退やお経の読み方、作務、食事・入浴の仕方など、さまざまなことを学ぶことができます。大学生活も残りわずかですが、今後勉強に励み、駒澤大学や竹友寮で得た知識・経験を活かし、これからの本山での修行生活に臨みます。

駒

澤大学には実家が寺院だったという縁があり入学しました。高校時代から歴史という教科が好



禅学科
3年
二ノ戸 昭幸

学生たち

大

学生になったらいろんなことを経験してね。私が東京で一人暮らしを始める前に両親に言われた言葉です。大学1年生の頃、同じ部活の先輩に、所属しているゼミについて伺いました。そこで、徳野ゼミではさまざまな宗教実習を行っている知り、このゼミに入って自分の知見を広げたいと思い志望しました。

徳野ゼミの宗教学実習は、月に1〜2回ほど行われており、寺社を巡ったり博物館などを見学したりしています。こうした駒澤大学の立地を活かした実習は、地元ではなかなか経験することができないため、将来僧侶を目指す私にとって大変貴重な機会だと感じました。

残り少ない学生生活でも、体育会の少林寺拳法部の活動と卒業論文執筆を両立させ、大学生でしか体験できないことに挑戦し、卒業後、両親に「いろんなことを経験してきた」と言えるような時間を過ごしたいです。



仏教学科
4年
菅原 健友

仏

教は東洋社会をはじめ、西洋社会にも広がりを見せており、多様な思想、宗派が存在する宗教です。そうした中で仏教学科ではインド・チベット、中国や朝鮮半島、スリランカから東南アジア、日本など各地域で発展した仏教、および宗教学の多種多様な歴史、思想、文化を学ぶことができます。

授業形式には、ただ傾聴するだけでなく、発表やグループワークまたは坐禅などの実践的な授業が多数存在するため、学生同士、互いに刺激を受けながら日々学びを深めることができます。さらに、そこで培われた力は就職活動でも活かされていると感じています。また、学部横断型の履修や多様な全学共通科目の展開により、仏教学・宗教学以外にも多彩な一般教養を身に付けることができ、それらの知識と仏教学・宗教学を掛け合わせることで、より深い学びや研究ができています。



仏教学科
4年
大津 我公

せ

つかく入学したからには駒澤大学ならではの経験をしたいたいと思い、参禅部に入部しました。前顧問で今も活動に関わってくださっている石井清純先生や先輩方から作法を教えてください、何度も活動していくなかで坐禅の楽しさや心地よさを感じるようになりました。オートムフェスティバルや教育後援会などで坐禅体験のお手伝いをすることもあり、もしかしたら読んでいる皆さんと一緒に坐つたことがあるかもしれません。

坐禅中は無になるのではなく、大きな川がとうとうと流れているイメージで、何か思いつくことや感じることはそのまま浮かばせて追いかけないように心がけるとよい、という教えがとくに印象に残っています。習慣的に坐禅堂で坐するというのは、まさに駒澤大学の参禅部だからこそできる経験だと思っています。卒業まで毎週坐り続けていきたいです。

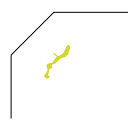


仏教学科
4年
本間 実莉

地方で活躍する 駒大卒業生の 皆さん

第26回

輝く卒業生に
Close Up!



「好きこそ 物の上手なれ」



敷島製パン株式会社
ブランドコミュニケーション部
コミュニケーションデザイングループ
マネージャー

志方 利光さん

駒澤大学文学部 地理学科卒業（2001年3月）

「超熟」でお馴染みの敷島製パン株式会社(Pasco)で働いております。志方利光と申します。

直近の紙面掲載を飾っていたO・B・Oの方々に比べるとかなり年齢を重ねておりますが、私が大学を卒業した年は2001年で就職氷河期と言われた時代です。今では考えられませんが、各企業が採用人数を抑制する中、大卒内定率は69.7%と低く、早くから就職説明会への参加など「就活」に時間を注いできた記憶があります。私は、「元々」食を通じて社会貢献と企業成長に興味があり、就職するならば食品企業へ！という強い想いがありました。また、大学時代に某企業のベ-

「超熟」でお馴染みの敷島製パン株式会社(Pasco)で働いております。志方利光と申します。直近の紙面掲載を飾っていたO・B・Oの方々に比べるとかなり年齢を重ねておりますが、私が大学を卒業した年は2001年で就職氷河期と言われた時代です。今では考えられませんが、各企業が採用人数を抑制する中、大卒内定率は69.7%と低く、早くから就職説明会への参加など「就活」に時間を注いできた記憶があります。私は、「元々」食を通じて社会貢献と企業成長に興味があり、就職するならば食品企業へ！という強い想いがありました。また、大学時代に某企業のベ-

「超熟」でお馴染みの敷島製パン株式会社(Pasco)で働いております。志方利光と申します。直近の紙面掲載を飾っていたO・B・Oの方々に比べるとかなり年齢を重ねておりますが、私が大学を卒業した年は2001年で就職氷河期と言われた時代です。今では考えられませんが、各企業が採用人数を抑制する中、大卒内定率は69.7%と低く、早くから就職説明会への参加など「就活」に時間を注いできた記憶があります。私は、「元々」食を通じて社会貢献と企業成長に興味があり、就職するならば食品企業へ！という強い想いがありました。また、大学時代に某企業のベ-





藤田敦史選手が今では陸上競技部監督、大八木さんはコーチ↓総監督と、それぞれご昇格されましたが、以前、大学が主催する三大駅伝の祝賀会にご招待いただき、ご両名とお話をさせていたただいたときは、非常に感慨深い思いに浸りました。

Pascoでは、入社当時は営業職として採用されて、東京・神奈川・千葉と多くのエリアでの取引先の担当を経て、営業企画部門へ異動、2023年9月からは現在のコミュニケーション部門（広告・宣伝）に着任しております。職場も東京都からPasco本社のある愛知県に移り、単身赴任生活を送っている日々です。

現在担当しているコミュニケーション施策業務には、テレビCM制作やデジタル系コンテンツを通じた広告素材制作と配信業務があり、一人でも多くの方へPascoの商品に興味を持っていただき、商品を通じて企業姿勢や想いに共感していただくことを目的として取り組んでおります。特にデジタル分野においては、年々新しいコンテンツやツールが刷新される中、マインドへの刺激につながるように、日々、知の探索・深化を意識しながら進めております。探求するためには、諦めずに注ぎ込

むだけのパワーと熱意が必要です。が、私の場合、好きな仕事だからこそ、根気強く探求できると思っております。就活で悩んでいる学生の皆さんには、ぜひ、「興味や関心を持てるかどうか？」といった観点からの企業選びもおススメしたいです。学生時代には、ゼミ内でたくさんさんの議論や意見交換をしたことを今でも鮮明に覚えていますが、社会では異なる考え方や、別の視点や価値観での捉え方も重要となってきます。意見を交わしながら企業にとっての「最適解」を導き出していきますので、学生時代は楽しみながらいろいろな見方や考え方、価値観を養い、そこから社会に羽ばたいてほしいと思っています。





令和7年度

特集
6

教育懇談会を終えて



教育懇談会は、駒澤大学と駒澤大学教育後援会の共催により実施しています。大学代表、教育後援会代表、職員が各会場に赴き、駒澤大学で学ぶ学生のご父母(保証人)を対象に、大学の近況を報告し、学生生活の様子をお伝えするとともに、参加者の皆さま同士の交流や教職員との懇談を図ることを目的としています。令和7年度教育懇談会では、全国22会場にて994人のご父母の方々にご参加いただきました。



教育懇談会プログラム

地方会場	東京会場
大学近況報告	
教育後援会の説明	
各部の全体説明	
① 学生生活に関する説明 ② 学業成績に関する説明 ③ 就職に関する説明	① 学生生活に関する説明 ② 学業成績に関する説明 ③ 留学・国際交流に関する説明 ④ 就職に関する説明
昼食	
大学教員によるミニ講義	
① 個別面談 ② 懇談会	① キャンパスツアー ② 図書館自由見学 ③ 禅文化歴史博物館自由見学



昼食会場



キャンパスツアー



ミニ講義



図書館



禅文化歴史博物館

オンライン個別相談

7月12日(土)・21日(月・祝)に、履修・成績、就職、サークル活動、学内奨学金、カウンセラーへの相談についてお申し込みいただいた全国のご父母を対象に、Zoomにてオンライン個別相談を実施いたしました。

令和7年度 教育懇談会 参加者の声

教育懇談会にご参加いただいた方々のご意見・
ご感想をご紹介します。

5月24日(土)◆山形会場 法学部 法律学科3年の父



初めて教育懇談会に参加し、教育後援会と大学による就職支援や学生生活への支援体制を詳しく知ることができ、安心感を得ました。キャリアセンターの活用やインターンシップ支援など、今後の就職活動に向けた具体的な支援内容では、大学が学生一人ひとりに寄り添っている姿勢を実感しました。また、昼食時には偶然にも同じ地区に住み、子どもが同じ学部・学科に在籍する保護者と出会い、貴重な情報交換ができたことも大きな収穫でした。大学と教育後援会が学生を温かく見守り支えていることを知り、親として大きな安心につながりました。

初めての参加で不安もありましたが、多くの学びとつながりを得ることができ、参加して本当によかったと感じています。

5月24日(土)◆那覇会場 法学部 法律学科2年の父母



教育懇談会、地方での開催に感謝いたします。大学の近況、学生生活、就職支援、後援会、履修、出席状況について説明していただきました。実際に対面でお話を聞くことで良い経験になりました。また、大学職員の方々、教育後援会の方と親睦でき、とても気さくに感じられました。教務部の方からは個人面談で今後の学生生活の送り方やバイトのことなど丁寧に教えていただき、不安な気持ちも安心へ変わり感謝の気持ちでいっぱいです。大変ありがとうございました。

駒澤大学に進学して良かったと、親子共々話しております。また次回も参加したいと思います。

5月31日(土)◆長野会場 法学部 政治学科4年の父



4年生になって初めて懇談会に参加しました。就職活動の取り組みなどが特に気になっていましたが、就職活動の現状や大学のサポート状況など、有益な情報を直接得ることができたので良かったです。昨年参加していれば、就職活動の準備や心構えなど、親として少しアドバイスや支援ができたかもしれないと思いました。

5月31日(土)◆岡山会場 文学部 地理学科3年の父母



昨年参加してよかったので、今年も参加しました。就職活動の流れを詳しく知ることができてよかったです。子どもと離れているので本人任せのところがあるけれど、話を詳しく聞くことで自分事になりました。職員の方とも話ができてよかったです。キャリアセンターの話を聞いて、子どもにもぜひキャリアセンターに行っていきたいと思いました。

6月1日(日)◆富山会場 経済学部 現代応用経済学科3年の父母



昨年、金沢会場に参加しました。その時に富山で開催してもらいたと思っていただけたところ、今年は富山で開催となりとても感謝しています。また、昨年参加してお話した方と再会し、同じテーブルで昼食を囲んで就活に対する不安などのお話ができて、お互いの心配を共有できたことはとても良かったです。

こんな素晴らしい機会なので、参加しないのがもったいないと感じました。

6月7日(土)◆熊本会場 経済学部 経済学科4年の父母



熊本から東京へ送り出し、息子の日々の生活が見えない中で、就職活動を乗り越えられるのだからかと不安がありましたが、大学の温かく手厚いサポート体制を知り、信頼してお任せできたと安心しました。また、図書館長の矢野教授のミニ講座がとても興味深く、知らないことを知る喜びを久しぶりに体感できました。今年度で息子は卒業しますが、駒澤大学で4年間学べたことに親として感謝しております。

来熊いただいた教職員・教育後援会の執行部の皆さま、ありがとうございました。

5月24日(土)◆鳥取会場 経済学部 経済学科3年の父母



子どもが通う大学の様子が知りたくて、今回参加しました。大学代表の先生のご説明も大変丁寧で、大学の方針、考え方が理解できました。また各教職員の方々の説明もわかりやすく、とても参考になりました。

子どもは3年生で、部活動に積極的に参加しているらしく、とても気になっていました。ビデオで流れていた内容や説明で、部活動の様子がわかり、安心しました。合掌して「いただきます」で始まる昼食会では、先生といろいろなお話ができ、また保護者とも話ができたのがとても楽しく、参考になることも多かったです。ミニ講義も、やさしく、詳しく、丁寧に話していただき、本当に楽しかったです。

5月25日(日)◆宇都宮会場 経済学部 現代応用経済学科4年の父母



昨年に続き地元宇都宮での開催のご案内をいただき、今年も迷わず参加させていただきました。昨年参加したときに子どもの成績や就職活動について先生や大学教員・キャリアセンターの方にいろいろ相談をさせていただき、とても良く教えてくださったので、不安が解消されました。

その後、子どもともいろいろ話をする事ができるきっかけになりました。就職活動で悩んでいたときにもキャリアセンターで相談してみたら？と声掛けすることができました。さまざまなアドバイスのおかげで、現在就社の企業様より内々定をいただいております。また、経営学部 飯田先生のミニ講座も大変有意義な時間となりました。

今年度で卒業となる予定ですが、在校生の親御さんにはぜひとも参加していただけるようお勧めいたします。

5月31日(土)◆三宮会場 医療健康科学部 診療放射線技術科学科 4年の父母



昨年初めて大阪会場に参加し、息子がお世話になっている学長先生とお話することができました。今年は夫と一緒に三宮会場に参加させていただき、学長先生のミニ講義を受けて、学生気分を味わいました。就職活動や進路について具体的に話を伺い、安心しました。息子が遠く離れた地で一人暮らしをしながら大学生生活を謳歌できるのは、大学関係者の皆様のおかげと感謝しております。

6月1日(日)◆静岡会場 GMS学部 GM学科2年の父母



大学や地元の保護者の方々とはつながる貴重な機会として、昨年に続き参加しました。個別相談では気になっていたことが解消できて安心しましたし、子どもの頑張りも感じられて、有意義な時間となりました。就職活動の早期化の現状やキャリアセンターの支援内容についても知ることができたので、子どもと情報を共有したいと思います。

大学をより身近に感じた一日となり、今年はキャンパスにも足を運び、登録有形文化財である禅文化歴史博物館も訪れてみたいと思いました。

6月1日(日)◆高松会場 文学部英米文学科1年の母(写真右) 法学部政治学科1年の母(写真左)



遠方のため大学との関係性もなく、大学のこと、学生生活での様子を知らなりたいと思い、また奨学金のことなど興味ある話があったので参加しました。参加する前は、ただ座って話を聞いているだけだろうと思っていたけれど、実際には職員の方、他の保護者の方々と話ができましたし、聞きたかった話も聞くことができてよかったです。

6月15日(日)◆つくば会場
経済学部
商学科4年の父母



教育懇談会に参加して、就職活動や履修について大学関係者のみなさんが学生に対して手厚く対応していると感じ安心しました。会場で他の保護者の方々と交流を持つことができ、地方ならではの悩みを共感したり情報交換したりすることができました。

息子はゼミに入ってから課外活動を通し地域の夏祭りや地域作りに参加し、たくさんのことを学びました。ご指導くださった教授をはじめ世田谷区の地域の方々と出会えたことが息子の大きな成長につながりました。その姿を見て、駒澤大学で学ぶことができて良かったと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

6月21日(土)◆盛岡会場
経営学部
経営学科2年の父母



初めて参加しました。学生生活のこと、就活のこと、後援会行事のこと、個別の相談、他の保護者との交流など、直接聞けてよかったと思うことばかりでした。大学が学生一人ひとりを大切に育ててくださっているのを感じ、うれしくなりました。また、内海教授のミニ講義がおもしろくて、学生に戻ったような気持ちで終了後もお話しさせていただきました。子どもが駒澤大学に通っているからこそ親も体験できることがあるのだと改めて感じ、清々しい気持ちになる会でした。

6月22日(日)◆仙台会場
法学部
法律学科3年の父母



早いもので娘は3年生になりました。就活についていつ本人から相談されても対応できるように、情報収集しようと思い参加しました。2回目の参加となりますが、前回同様、大学の近況や各種制度、成績等について「直接」話を聞けるのが大変有意義だと感じました。昼食の際などに関係者の方からネット上では得られないリアルな情報・アドバイスをいただけるのも、参加するメリットだと思います。また、ミニ講義は学ぶことの素晴らしさを再確認させられる刺激的な時間となりました。

11月の参禅研修会と箱根駅伝の応援にぜひ参加したいと考えています。ありがとうございました。

6月28日(土)◆高崎会場
GMS学部
GM学科3年の父



これまで日程が合わず参加できなかった教育懇談会に、今年ようやく参加することができました。子どもからは、サークル活動を含め充実した大学生活を送っていると聞いていましたが、実際に教職員の方々のお話や講演会を通じて、その充実の理由を実感することができました。特にキャリアセンターの支援体制には感銘を受けました。3年生のこの時期からすでに就職活動に向けて動き始めており、予約不要の対面相談など、学生一人ひとりに寄り添ったサポートが整っていることに驚きました。こうした丁寧な支援に感謝申し上げます。

6月29日(日)◆新潟会場
経営学部市場戦略学科1年の母(写真右)
経営学部経営学科1年の母(写真中央)
経済学部現代応用経済学科1年の母(写真左)



地元での子どものつながりで、3人で教育懇談会に参加しました。うち1人は、大学の卒業生であり、大学が安心して子どもを預けられる環境へと進化していることに感激していました。子どもが親元を離れて生活を始めたころは不安もありましたが、大学が一人ひとりと丁寧に対話し、個別に指導してくださっていることを知り、大変心強く感じました。また、このような会合が地方でも開催されていることを知り、大学をより身近に感じることができました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

参禅研修にもぜひ参加してみたいと思います。

7月6日(日)◆東京会場
経済学部
商学科3年の父母



今回、初めての参加でした。今まで知らなかったことがたくさんありましたが、就職についてのお話が特に良かったです。子どもはなかなか自分から発信しないので心配していましたが、お話を聞いて親として子どもと関わっていき、大学のキャリアサポートを頼って就職活動をしてほしいと思いました。

昼食会では同学部の教授や保護者とお話もできて楽しく、貴重な体験ができました。

6月14日(土)◆四日市会場
法学部
政治学科4年の父母



以前、駅伝の応援に行ったときに、支部の方々から懇談会などの保護者が参加できる行事があることを聞いていたものの、なかなか予定が合わず参加がかなわなかったのですが、今回は来ることができました。大学のこと、就職のこと、学生に対するサポートのことなど、いろいろな情報を得ることができました。もっと前から参加しておけばよかったと思いました。

ぜひ皆さんも、1・2年生のうちから教育懇談会に参加してください!!

6月15日(日)◆名古屋会場
仏教学部2年の母(写真右)
文学部英文文学科2年の母(写真左)



今回の教育懇談会には、昨年も参加されていた中学時代の同級生のお母さまとご一緒させていただきました。キャリアセンターのサポートについては話に聞いていましたが、実際にどのような支援があるのかを具体的に知ることができ、他大学に比べて非常に手厚いと感じました。昼食時には副学長と出席し、教授側から見た学生の様子など、普段は聞けないお話も伺うことができました。また、昨年子どもが骨折した際に、教務部の方々から授業や病院について丁寧なサポートを受けたことに対する感謝を直接伝えることができた意味でも、貴重な機会でした。

今後は箱根駅伝の応援や賛詞交歓会などの行事にも、ぜひ積極的に参加してみたいと思っています。

6月21日(土)◆広島会場
文学部英文文学科2年の母(写真右)
GMS学部GM学科1年の母(写真左)



大学にも行く機会がなく、懇談会に参加する予定ではなかったのですが、今回参加して本当に良かったです。大学の学生に対する考え方や教育後援会の活動内容、教職員の方々の丁寧な説明など、とても参考になりました。

子どもはまだ1年生ですが、就職のことが気になっていました。キャリアセンターのしくみと相談の仕方がわかり、とても手厚いことに安心しました。経済学部長のミニ講義は、テンポが速かったけれど、聞きやすかったです。日本経済のきびしさが実感できました。少子化の中、社会に出て自分ができることは何か、社会に貢献・協力できることは何かを考えて、自立していく子どもを、これからも応援していきたいです。

6月22日(日)◆福岡会場
経営学部
市場戦略学科4年の父母



今年2月、海の中道クロスカントリー大会の応援に参加させていただきました。これまで仕事の都合上東京にも行けず、4年生にして初、念願の教育懇談会参加となりました。息子は暇があれば通うほど大学を気に入っていることもあり、私も教育懇談会に出席して、駒澤大学のことをもっと知りたいという思いがありました。

今回、大学の理念や施設、各システム、活動や取り組み、成績に関する、就活支援など幅広い内容を聞くことができました。また、経済学部長の松田教授の講義はとても興味深く、時間がたつのもあっという間でした。有意義な時を過ごせた余韻に、しばらく浸っていたいと思うほどでした。

保護者同士の語り合いも楽しく、息子のおかげで、素敵な人とのつながりが持てたこと、安心して通わせられる大学にお世話になっていくことに深く感謝いたします。このような場を設けていただき、誠にありがとうございました。大学関連のイベントがありましたら、ぜひ足を運ばせていただきたいと思います。

6月29日(日)◆郡山会場
医療健康科学部
診療放射線技術科学科1年の父母



ハガキが届いて教育懇談会のことを知りました。入学したばかりで大学のことをよく知らなかったで、子どもが通っている学校のことをよく知りたいと思い参加しました。

来られていた先生が子どもの通っている学部の先生だったので、自分たちのために来てくださったのでは? と思いました。学部には歴史があり、設備も整っていて安心しました。就職や国家試験の話聞くことができて良かったです。また来年も参加したいなと思います。

7月6日(日)◆東京会場
GMS学部
GM学科3年の父母



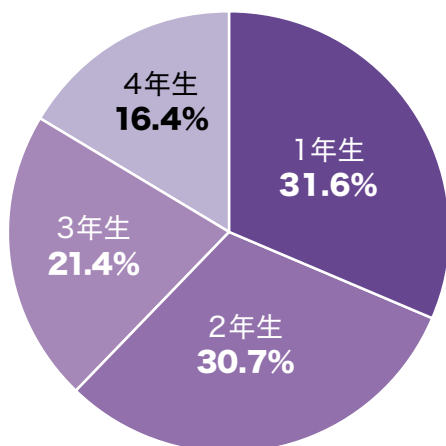
長女が就職活動に悩んでいる姿を見て、先生や保護者の話を聞き、助けになればと思い参加しました。先生から気さくに話しかけられ、ゼミの様子などを教えていただけたことにびっくりしました。先生が上手に保護者に話を振ってくださるので、学校生活や学生の私生活への理解が深まり勉強になりました。キャリアセンターの支援についても理解が深まり、非常に手厚い支援を受けることができるとわかりました。今後、長女に利用を促そうと思います。就職希望者の就職率の高い数値も教えていただきましたが、やはり就職に向けたご支援をいただきたいと思います。

貴重な機会なので、今後も開催していただければ参加したいと思います。

令和7年度 教育懇談会 参加者アンケート結果

教育懇談会にご参加された方々より、ご回答いただいたアンケートの集計結果は次のとおりです。
ご協力いただき、ありがとうございました。

Q1. ご子供の学年を教えてください。



今年度は1年生のご父母の方の参加が31.6%と、最も多い結果になりました。学部・学年を超えた方々と情報交換ができますので、次年度以降も多くのご父母の方のご参加をお待ちしております。

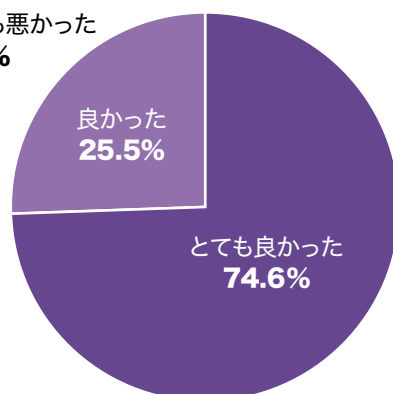
Q3. 教育懇談会に参加されていたいかがでしたか。

悪かった

0.0%

とても悪かった

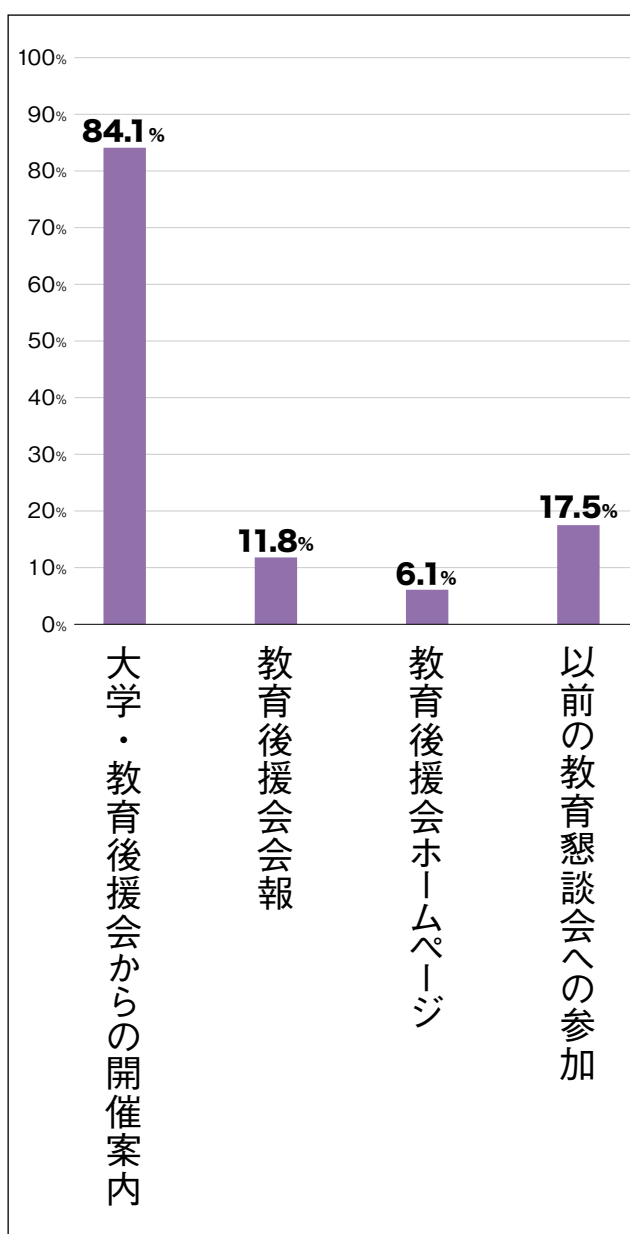
0.0%



アンケート結果では、「悪かった」「とても悪かった」という回答は0.0%でした。皆さまにおおむねご満足いただけたものと考えております。遠方にお住まいのご父母の方々にも安心していただけるよう、大学の近況報告や学生の様子の発信に努めてまいります。

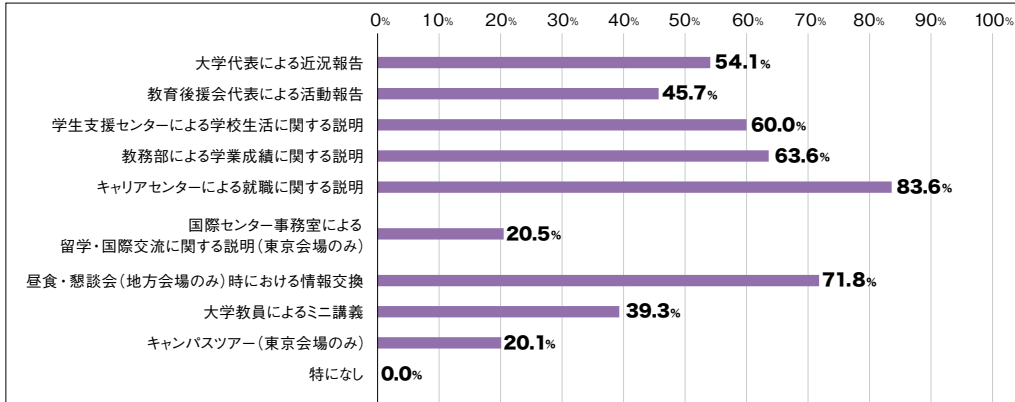
Q2. 教育懇談会への参加を決めたきっかけを教えてください。

【複数選択可】



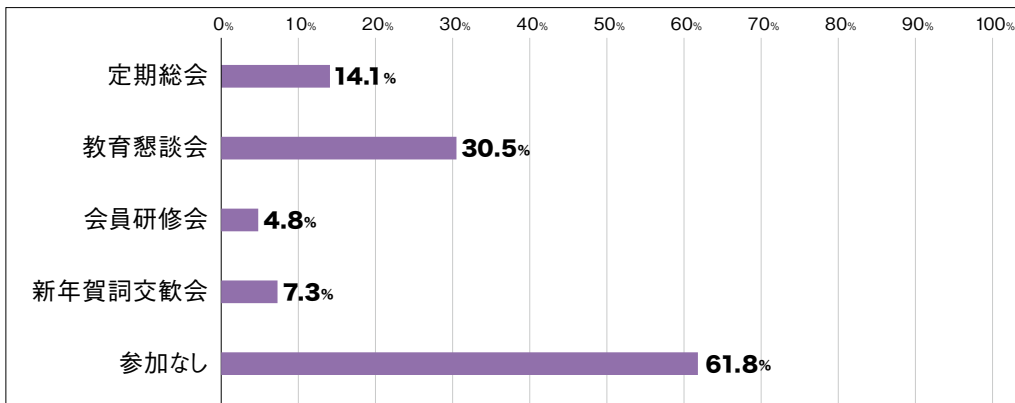
教育懇談会への参加を決めたきっかけとして、「大学・教育後援会からの開催案内」が84.1%と最も多く、続いて「以前の教育懇談会への参加」が17.5%という結果になりました。開催案内が引き続き最も効果的な参加動機となっています。また、リピーターの方が増えており、毎年参加してもご満足いただけるようなイベントにしていきたいと思っております。

Q4. 教育懇談会のプログラムで何が参考になりましたか。【複数選択可】



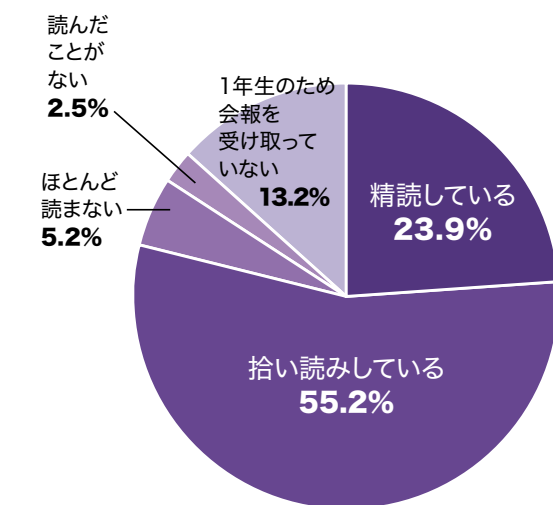
最も多く回答されたのは「キャリアセンターによる就職に関する説明」で83.6%でした。続いて「昼食・懇談会時における情報交換」が71.8%でした。就職に関する説明を聞くことで、普段漠然と不安に思っている事象も解消され、ご父母の皆さまや教員とお食事を共にしながら情報交換をすることで、有意義な時間を過ごされたことをとてもうれしく思います。

Q5. 以前に教育後援会の活動に参加されたことはありますか。【複数選択可】



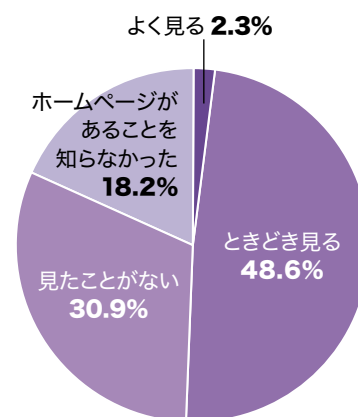
「参加なし」と回答した方の割合は61.8%であり、昨年度よりも参加経験のある方が増えています。教育後援会では、教育懇談会のほかにも会員研修会、賀詞交歓会等、ご父母の方々が参加できるイベントを開催しておりますので、ぜひご参加ください。

Q6. 教育後援会会報を読まれていますか。



「精読している」が23.9%、「拾い読みしている」が55.2%となり、多くの方が会報をご覧になっていることがわかりました。会報ではサークル活動や学部・学科紹介、在学生や卒業生のコメントも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

Q7. 教育後援会ホームページをご覧になっていますか。



ホームページを「見たことがない」と回答した方が30.9%、「ホームページがあることを知らなかった」と回答した方が18.2%という結果でした。「ときどき見る」と回答した方は48.6%と増えており、周知は進んでいるようです。ホームページでは教育後援会の活動の最新情報を随時更新しておりますので、ぜひチェックしてみてください。
<https://www.komazawa-k.org/>



夏季委員研修会に参加して



駒澤大学教育後援会では、ご子女の学ぶ大学への理解を深めるため、毎年「夏季委員研修会」を開催しています。
この研修会に参加された方からご感想をお寄せいただきました。

駒澤大学の魅力



教育後援会 厚生部
平塚 曜子

後援会活動の中でも、駒澤大学の魅力を最も発見できる場は「夏季委員研修会」です。この研修会に参加すると、「あゝ、駒澤大学ってとても素敵!! 私も30年前に戻れたら駒大生になつてみたい」と本気で思っています。

7月19日(土)、四十六人が参加した研修会の内容は以下の通りです。
最初は駒澤大学OBで現役アナウンサーの大浜平太郎さん(テレビ東京「Newsモーニングサテライト」出演中)の講演です。印象に残ったのは大学在学中の話でした。期待に胸を膨らませて駒澤に入学したものの、理想と現実のギャップに苦しんでいた大浜さんの転機は出会いです。「やっと出会えた」。大浜さんは魅力的な先生に出逢った当時を振り返り、「涙が出た」と感慨

深そうでした。尊敬する先生のゼミに飛び込み、中東地域や日本各地で多くの人と触れ合ったリアルな経験がアナウンサーを目指すきっかけとなったそうです。ご自身の学生時代を赤裸々に語ってくださった1時間半はあっという間でした。質問コーナーでは、就職先を絞りきれない学生へのアドバイスとして「業界や企業規模の大小にこだわらず活動すること。そうすれば視野も広がり、選択肢も増えるはず」という貴重なご意見をいただきました。

ランチは学生が利用する食堂「Kitchen駒膳」。迷いに迷って私は「日替わり定食(豚カツ)」を選びました。学生と一緒に食べると私も学生に戻った気分になります。「安いのにボリュームがあって美味しい。学食のレベルが高い」。

午後の部は「駒澤お笑い集団ナイフとフォーク」との研修から。サークル名を聞いただけでもワクワクしてしまいました。私はお笑い好きなので、彼らと一緒に過ごす時間を楽しみにしていました。目の前で観た芸は想像以上のクオリティーでびっくり。テンポ、シナリオとも超ナイスで、一生懸命考えてきてくれたことが伝わりました。ついつい笑ってしまい、ほっこりした気分。私たちに課さ

れた「芸への採点作業」には正直、頭を抱えましたが、「ぜひライブにも行ってみたい!」と思いました。本当に楽しかったです。

研修会の締めは「折り紙サークル折施」からの学びです。「今日は何を折るのかな」と期待に胸を膨らませていたら、人間大に折られた恐竜や芝犬の巨大折り紙が登場。開始早々、会場が沸き上がりました。同サークルのモットーは「和気あいあいと楽しく活動する」。穏やかで親切な部員さんが各テーブルを回って指導してくれました。「熱心に説明してくれて本当にありがとう!」。今回は「折施」が独自に考えたオリジナル作品3点を教えてもらいました。アタマと胴体を別々に折る「カエル」には、試行錯誤した二つのパーツを合体した瞬間、思わずにんまり。達成感を味わえた時間でした。

研修会では夕方まで学生たちと一緒に過ごし、改めて駒澤大学の魅力を感じることができました。帰路は、じめじめした暑さを忘れるくらい、すがすがしい気持ちに。一緒に過ごしてくれた学生さん、大浜さん、運営者の皆さん、本当に楽しかったですよ。ありがとうございました。一日を大学で過ごし、私は今まで以上に駒澤大学のファンになりました。

「夏季委員研修会」プログラム

駒大OB 大浜平太郎氏講演

学食体験(昼食)

駒澤お笑い集団ナイフとフォーク

折り紙サークル「折旆」



集合写真

駒澤お笑い集団ナイフとフォークのライブ



駒澤お笑い集団ナイフとフォークのみなさん



Kitchen駒膳(学食)での学食体験



折り紙サークル「折旆」のみなさん



折り紙レクチャー



折り紙体験



「折旆」オリジナル作品

OB 大浜平太郎氏



講演風景



試験および 成績評価について

教務部

●成績評価

本学では、約5500の授業が開講されていますが、授業の内容や形式は、科目の特性や担当教員の実施方法に応じて異なっています。そのため、成績評価の方法も、授業科目の特性または担当教員の考えによって異なります。各教員が授業形態に応じた方法によって、成績評価を行っています。成績評価の方法については、「シラバス(KONECOで閲覧可能)」に明記されています。

●試験の種類(定期試験・追試験・授業内試験)

1. 定期試験

1月13日(火)から26日(月)は、後期および通年科目の試験期間であり、原則として平常の授業と同じ曜日・時間で行います。ただし、1月13日(火)から15日(木)、および19日(月)は、平常の授業と異なる曜日・時間で行うことがあるので、必ず日程の確認をしてください。試験形態は、筆記試験のみとなります。

最新の情報は大学ホームページや「KONECO」で確認してください。

2. 追試験

定期試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、所定の手続きを行い受ける試験です。「追試験受験願」を提出する際には、受験できなかった理由を証明する書類(診断書・証明書など)を添付しなければなりません。

3. 授業内試験

平常の授業時間内に担当教員が任意に行う試験(レポート提出を含む)です。年間を通じて行われるものですが、特に学年末の12・1月に行われる授業内試験は、定期試験の代わりとして実施される場合があります。

●成績発表および成績調査

学生への後期および通年科目の成績発表は、2月18日(水)にWebの「KONECO」にて行います。

また、成績に関して疑問がある場合は、2月18日(水)から2月20日(金)正午までにKONECO上で調査の申請を行ってください。この期間以外での申し出については、いかなる理由でも一切対応できません。

なお、3月中旬に保証人宛てに「学業成績表」を送付いたします(学生本人へは送付いたしません)。保証人住所を変更した場合は、必ず教務部へ届け出るよう学生本人へお伝えください。

成績表の見方については、次号の『会報』に掲載する予定です。

後期試験などに関する主な日程

後期授業最終日	1月10日(土)
後期・通年科目 定期試験	1月13日(火)～15日(木)・ 19日(月)～23日(金)・ 26日(月)
「追試験受験願」受付締切	1月27日(火) 正午
追試験	1月31日(土) 2月2日(月)・9日(月)・ 10日(火)・12日(木)・13日(金)
成績発表(KONECOにて)	2月18日(水)
成績調査申請 (KONECO) 受付締切	2月20日(金) 正午
成績表発送(保証人住所へ送付)	3月中旬

データ投稿方法

卒業アルバムサイト
(委託企業サイト)



- 個人写真
- ゼミ・サークル・友人など
集合写真

データ投稿は、3月25日(水)
締切となります。

※写真の撮影・データ投稿は無料、服
装は自由です。アルバムの購入を迷っ
ている方も、ぜひご参加ください。

KONECO 掲示などでお知らせいたします。

※期間・場所などが変更になった場合は、

【集合場所】駒沢キャンパス 種月館(3号館)2階

【時間】10時～17時

最終
撮影会
令和7年12月3日(水)～12月5日(金)

卒業アルバムに掲載された一枚一枚の写真には、一人ひとりの大学時代の思い出が込められています。卒業してから10年、20年と時間がたち、ふと手に取って見返したときに、卒業生にもご家族にも楽しんでいただけるようなアルバムを制作中です。

ご子息・ご息女が個人写真の撮影データ投稿をされていない場合、アルバムの個人写真ページに掲載されませんので、くれぐれもご注意ください。ご子息・ご息女にお知らせいただき、まだ撮影がお済みでない場合は、ぜひともお勧めくださいますようお願いいたします。また、撮影会の予定が合わない場合は、データ投稿も可能です。

駒澤大学

卒業アルバム2026年について

― 後期撮影会(最終)およびデータ投稿のお知らせ ―

奨学金について

学生支援
センター

●日本学生支援機構（JASSO）奨学生の皆様へ

【返還手続き（貸与型、卒業年次生のみ）】

奨学金返還についての関連書類を、保証人宛てにすでに郵送しましたので、内容をご確認ください。

【次年度継続願（貸与型）】

例年12月中旬～1月上旬に、次年度奨学金の「継続願」Web手続きを行っています。卒業年次生を除き、スカラネット・パーソナルにて継続願をWeb入力してください。

詳細は12月中旬にKONECOにてお知らせします。
※給付型奨学金の「継続願」Web手続きは不要です。



スカラネット・
パーソナル
ログイン画面

【学業成績の適格認定（給付型・貸与型）】

JASSO奨学金では、国の基準に従って、これまでの学業成績や学修意欲をチェックする「適格認定」が毎年度末に行われます。

特に給付型奨学生へは「継続・警告・停止・廃止・遡及取消」のいずれかの判定結果を3月下旬にKONECO等でお知らせしますので、必ず確認してください。

学生支援センター厚生課

日本学生支援機構（JASSO）担当窓口

TEL 03-3341-8955

scholarship@komazawa-u.ac.jp

インスタグラム

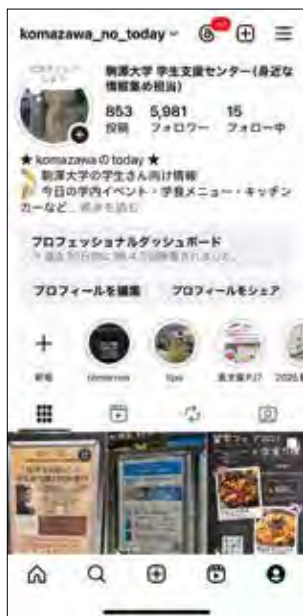
「駒澤の今日」更新中

学生支援
センター

●学生支援センターの担当者が見つけた

学内情報を学生向けに発信

その日大学でどんなイベントが行われているのか、のぞいてみてください。



卒業アルバムの購入方法のご案内

卒業アルバムのご購入につきましては、すでに郵送させていただきましたダイレクトメールをご確認いただき、卒業アルバムサイト（コンビニ決済・クレジット決済・パスワードは「6742」）または郵便局振込用紙のいずれかの方法でお申し込みください。なお、お申し込み時に指定されたご住所に卒業アルバムを郵送させていただきます。

【代金】8500円（税・送料込み）

【納期】2026年6月末発送予定

卒業後の発送となります。
到着まで数日かかる場合があります。

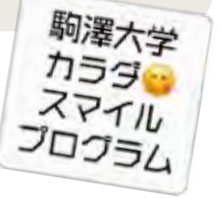


※写真はイメージです。



駒澤大学カラダスマイルプログラム

学生支援センター



2025年6～7月、駒大生に自身の健康について考える機会を持ってもらうことを目的として、「駒澤大学カラダスマイルプログラム」と題し、多数の学生支援企画を開催しました。期間中は、教育後援会の支援により、学食にサラダバーや100円朝食の新メニューが特別価格で登場し、試験前の学生でにぎわいました。

夏休み直前には、企業・団体から提供された元気に大学生活を送れる食品を中心に、9万点以上を学生に無償配付する「食支援プロジェクト7」を開催しました。会場には管理栄養士との健康相談や野菜摂取量測定を行うブースも設け、学生自身が健康を考える機会につなげました。

アスリートの熱中症対策と栄養



100円朝食クロワッサン&スープ



朝だけ10円サラダ

ランチ50円サラダバー



図書館企画展



アルコールパッチテスト



ベジチェックを使った野菜摂取量測定





学生支援企画一覧

- | | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| ● 図書館企画展「食事からはじめる元気への近道展」 | ● 野菜を食べよう! 100円朝食:朝だけ10円サラダ(400食) |
| ● アルコールパッチテスト(114人) | ● 野菜を食べよう! 100円朝食:クロワッサン&スープ(300食) |
| ● 禁煙・卒煙セミナー(2人) | ● 野菜を食べよう! ランチ50円サラダバー(662食) |
| ● セミナー「アスリートの熱中症対策と栄養」(92人) | ● 食支援プロジェクト7(2,034人) |
| ● AED体験会(応急手当講習会)(10人) | ● 栄養相談・野菜摂取量センサーによる測定(509人) |

モバイル券売機を使えば、並ばずに食券が買えます



学生支援センター



学生食堂(銀座スエヒロ)の食券券売機は、教育後援会の支援により、食券のオンライン購入機能「モバイル券売機」の利用が可能です。

この「モバイル券売機」では、決済方法に学生父母のクレジットカードを設定し、メールアドレスを登録して学食利用のたびに通知を受けることもできます。

詳細は、教育後援会ホームページなどでお知らせしていますので、ご確認ください!

モバイル券売機 使用方法

Kitchen 駒膳 モバイル券売機





<https://komazawa-univ-web.guest.jp>

ご注文・会員登録はこちらのQRコードから

※注文いただくには会員登録が必要です。
 ※お支払い方法はPayPay、クレジットカードが登録可能です。
 ※登録・注文方法は以下をご確認ください。
 ※予約機能はございませんので、食堂近辺でのご注文をお願いします。
 ※全てのご提供メニューには対応していません。

特別価格に並ばず注文。

RTAK 駒膳 in Kitchen



お知らせ

令和7年度 学位記授与式(卒業式)に ついて

日程：令和8年3月23日(月)・24日(火)

場所：記念講堂(駒澤大学駒沢キャンパス内)

●卒業生・修了生の所属学部・研究科により実施日が指定されますので、詳細については、大学ホームページ(<https://www.komazawa-u.ac.jp/>)をご確認ください。



「父母寄稿欄」への 投稿をお待ちしております

原稿用紙1枚程度(400字程度)

※ふるさとどり、学生に関すること、会報に対するご意見などをお寄せください。

※原稿には、タイトル・氏名・お子様の学部学科学年等をお書き添えください。顔写真なども一緒にいただけると幸いです。なお、原稿はお返しいたしません。

送り先 〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛
(メールでも受け付けております。)
k-koen@komazawa-u.ac.jp

推しのサークルにエールを届けませんか？ 新たにPayPayでの寄付が可能になりました！

日頃より本学募金事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2024年度より開始した「駒澤大学課外活動支援募金(サークル指定)」では、皆さまからのご寄付を直接各サークルに届け、学生の活動を支援しています。ご寄付いただいた方には、Web芳名録にお名前を掲載させていただき、各サークルからのメッセージカードを贈呈するほか、1万円以上のご寄付をいただいた方には、募金事務室オリジナルのマフラータオルを進呈いたします。また、Web上での決済によるご寄付の方にはサークルへのメッセージを寄せていただけます。いただいたメッセージは募金事務室を通じて各サークルにお届けします。9月より、これまでの銀行振込・クレジットカード決済に加え、新たにPayPayによる寄付の受付を開始しました。

皆さまのご支援がサークルのさらなる活躍につながります。引き続きのご協力を心よりお願い申し上げます。

【課外活動支援募金(サークル指定)対象団体】

アメリカンフットボール部、空手道部、剣道部、硬式テニス部、ゴルフ部、サッカー部、準硬式野球部、相撲部、体操競技部、卓球部、バスケットボール部、男子バレーボール部、ボクシング部、硬式野球部、ヨット部、ラグビーフットボール部、陸上競技部

募金の詳細はこちらよりご確認ください →



担当:募金事務室
TEL:03-3418-9561

編集後記

教育後援会の活動に参加するようになり、1年半になります。PTAのようなものかと思っていましたが、違いました。もっと学生寄りの組織のように感じます。

今までいくつかのサークルや特集記事の取材に参加してきました。駒沢キャンパスだけでなく、玉川や深沢にも行く機会があり、いろいろな駒澤大学をみせていただいています。在学生の中には駒沢以外のキャンパスに行くことはない人もいるそうで、私の方がちょっと知っている!と、うれしいです。学生の皆さんや大学の方々と話す機会もあり、自分の学生時代とは違うことも多く、新鮮です。会報の校正を通して、読むことがなかった情報にも接するようになりました。私自身の居場所がひとつ増え、新しい人とのつながりも生まれ、少し世界が広がりました。

これからどんなことに会えるのが楽しみです。子どもたちが学生時代に多くの居場所を作って良い経験を積めることを願って、少しでもお手伝いできるよう続けていきます。(Y・S)

子どもが大学に入学してから文化部に在籍して、いろいろな取材をさせていただくチャンスに恵まれました。4月は新入生のスケッチブック取材。新しい学生生活に希望あふれた新入生たち、声をかけると素直に答えてくれました。小さな目標から大きな目標まで十人十色。話しているとパワーをもらえました。サークル取材では、好きなことに一生懸命取り組む姿勢に感銘を受けました。学生時代に何かに取り組むことは素晴らしいことです。この経験は社会人になっても生きるでしょうし、そこで得た友人はこの先一生の宝になるのでしょうか。私も昔の学生時代を思い出し、何かに夢中に取り組む心を忘れてはいけないと思われました。

自分の子ども以外の若い世代の学生と話すことはなかなかないので、とても良い経験をさせていただいています。子どもの卒業までの活動ですが、大いに楽しんでいきたいと思っています。(N・Y)

新年賀詞 交歓会のお知らせ

令和8年1月31日(土)

午後1時30分開会(午後1時10分開場)

場所 ホテルニューオータニ ガーデンタワー5階 宴会場「鳳凰の間」
東京都千代田区紀尾井町4-1

会費 お一人様 6,000円 申込方法 次ページをご覧ください。

※募集人員は300人程度を予定しており、申込者多数の際にはお断りさせていただく場合があります。
開催内容につきましても変更となる場合がありますので、予めご了承をお願いいたします。



令和7年の
模様



今年度のプログラム(予定)

1. 開会の辞
2. 会長・来賓挨拶
3. 乾杯
4. サークル活動の紹介
5. 福引抽選会
6. 應援指導部ブルーペガサスによる公演
7. 閉会の辞



グッズ販売が
ございます



新年賀詞交歓会 申込方法

※お申し込みは会員の方(ご父母)のみといたします。

Web申込

「駒澤大学教育後援会」ホームページトップ画面より、
「御父母、保証人様も参加できるイベント」内の新年賀詞交歓会参加申込フォームからお申し込みください。



<https://www.komazawa-k.org>



申込締切日: **2025年12月9日(火)**

期日までにお申し込みください。

申込先 駒澤大学教育後援会事務局 (駒澤大学学生支援センター厚生課内)
お問い合わせ: TEL 03-3418-9060
事務取扱: 平日 10:00 ~ 17:00 ※ 12月24日から1月4日を除く。

場所: ホテルニューオータニ 会費: お一人様 6,000円

会費のお支払い方法、プログラムの詳細は
お申し込みされた方へ1月上旬までにお知らせいたします。



徒歩での所要時間等

東京メトロ銀座線・丸ノ内線…赤坂見附駅／D紀尾井町口 3分

東京メトロ半蔵門線・南北線…永田町駅／7番口 3分

東京メトロ有楽町線…麹町駅／2番口 6分

JR総武線・中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線…四ツ谷駅／麹町口・赤坂口 8分

アンケートに
答えて

駒澤大学
関連グッズを
抽選で
5名様
プレゼント!

駒澤大学教育後援会『会報』第193号はいかがだったでしょうか。今後の誌面編集の参考にさせていただくため、下記アンケートにお答えください。回答されたシートは、郵送もしくは FAX で駒澤大学教育後援会事務局までお送りください。皆様の率直なご意見、ご要望をお待ちしています(1月15日必着)。

Q1. おもしろかった記事の番号をお書きください(複数回答可)。

- | | |
|--|------------------------------|
| 1 表紙について | 9 特集⑥ 令和7年度 教育懇談会を終えて |
| 2 《巻頭挨拶》
永井 政之(学校法人駒澤大学 総長)
小峰 美幸/千年 英一郎(駒澤大学教育後援会 副会長) | 10 特集⑦ 夏季委員研修会に参加して |
| 3 特集① 気になる就職活動 | 11 大学だより |
| 4 特集② サークル紹介
ストリートダンスサークルKST/演劇研究部 | 12 教育後援会だより |
| 5 特集③ 国際センターだより | |
| 6 特集④ 地域の中心となる開かれた大学 セミナー・地域連携の紹介 | |
| 7 特集⑤ 学部・学科紹介 仏教学部 | |
| 8 特別企画 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん | |

回答欄

Q2. 学部の教育内容や学生生活の状況、紹介してほしい学部・学科、ゼミなど、特集で取り上げてほしいテーマをお書きください。

Q3. 駒澤大学教育後援会『会報』に関するご感想、またお気づきの点がございましたらお書きください。

プレゼントを希望される方は下記にご住所、ご氏名をご記入ください。ご協力まことにありがとうございました。

2次元コードでも回答できます

ご住所	〒
ご氏名	

郵送送り先

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛



FAX送り先

FAX 03-3418-8491

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
お預かりした個人情報は駒澤大学教育後援会事務局が責任をもって管理します。

お問い合わせ：TEL 03-3418-9060

第102回 東京箱根間往復大学駅伝競走 応援についてのお願い

お正月の名物 箱根駅伝

例年1月2日と3日に開催している「箱根駅伝」について、2026年大会の箱根駅伝の主催者である関東学生陸上競技連盟HPに、**応援に関する注意事項等**が発表されますので、皆さまご確認ください。

禁止事項に違反した場合、大会出場の停止やシード権の剥奪などのペナルティが科せられる場合があります。レース当日の応援につきましては、関東学生陸上競技連盟HPにて最新情報をご確認いただき、ルールを守ったうえで温かいご声援をいただけますようお願いいたします。



写真提供:月刊陸上競技

写真提供:月刊陸上競技



第21回 応援指導部ブルーペガサス 天馬祭 ご案内



この1年間、総勢90人で全国各地へ応援を届けてまいりました! 第46代応援指導部ブルーペガサスによる、支えてくださったすべての方へお届けする舞台。笑いあり、涙あり、感動のラストステージをお楽しみください。



X(旧Twitter):@BPkomazawa
Instagram:@komazawa_bp

<https://bluepegasus-komazawa.wixsite.com/bpouen>

体育会応援指導部 ブルーペガサス全部員で お届けする大迫力のステージ

日程: 12月14日(日)(12時開場/13時開演)

場所: 記念講堂

【内容構成】リーダー・チアリーダー・ブラスバンドによる
各パートステージ、合同ステージ

4年生の引退となる公演。
第46代の集大成をぜひご覧ください。



応援します 輝く今を

駒澤大学教育後援会

駒澤大学 <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

駒澤大学教育後援会 <https://www.komazawa-k.org/>

お問い合わせ先

日本学生支援機構
(JASSO) 奨学金について

学生支援センター内

03-3418-9557

奨学金の
相談について
学生支援センター
厚生課厚生2係

03-3418-9058

学業成績等の
相談について

教務部教務1係

03-3418-9118

留学について

国際センター

03-3418-9196

学費について

財務部学費係

03-3418-9076

図書館について

図書館情報サービス係

03-3418-9165

保証人
住所変更について

教務部学籍係

03-3418-9121

就職関係について

キャリアセンター

03-3418-9092